

文化を創る、フラッグシップ。

2019 冬

GRANSHIP

グランシップマガジン vol.16



GRANSHIP グランシップマガジン vol.16 2018年12月15日発行

特集

グランシップ20周年記念

グランシップ春の音楽祭2019～躍動の絆～

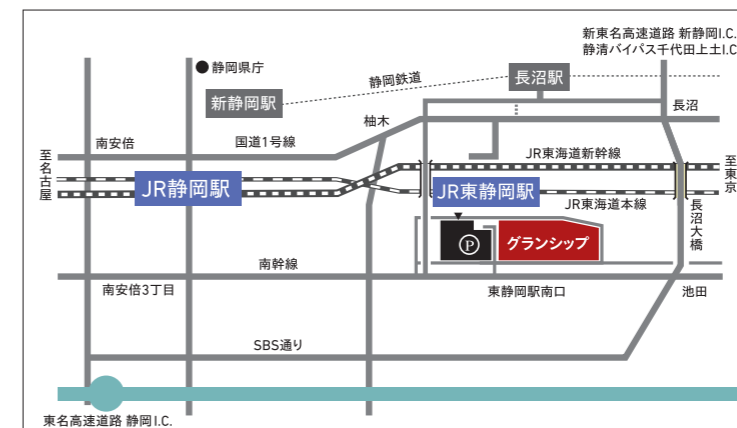
公益財団法人 静岡県文化財団

GRANSHIP サポーターズEYE



「わかる! 文楽入門講座」

撮影サポーター：猪熊 康夫



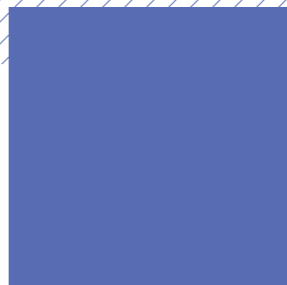
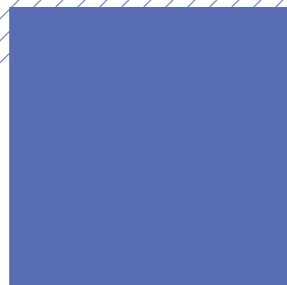
ACCESS

- JR東静岡駅南口隣接
静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で
東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路 静岡I.C.から20分
新東名高速道路 新静岡I.C.から15分
静岡バス千代田上土I.C.から10分
- 富士山静岡空港から静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で静岡駅まで55分
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分



静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団

〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 <http://www.granship.or.jp>



GRANSHIP Contents

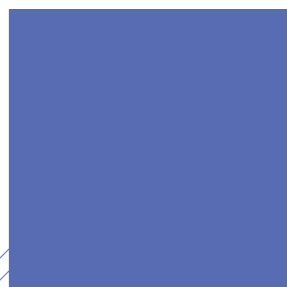
- 04 GRANSHIP Feature Stage
グランシップ20周年記念
「グランシップ春の音楽祭2019
〜躍動の絆〜」
- 08 GRANSHIP Feature Event
グランシップ出前公演
「2018年しずおか連詩の会 in 浜松
発表会レポート」
- 12 Pick up1
これを見ずして文楽を語れない
人形浄瑠璃 文楽
- 13 Column
岩下尚史の伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。
Vol.16 お正月のゆくえ…
- 14 Pick up2
わくわく感が止まらない！
H Z E T T R I O L I V E
“WITH US” in GRANSHIP
- 15 Pick up3
静岡が音符になって響き合う
NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト
シリーズⅡ「N響メンバーによる古典派編+
野平一郎新作「静岡トリロジーⅡ」
- 16 GRANSHIP Event Calendar
2019年1月〜3月グランシップイベントカレンダー
- 20 Outreach
グランシップ子どもアート体験！学校プログラム
玉川奈々福の浪曲教室
- 21 Information
第14期グランシップモニター募集
- 22 Information
グランシップ友の会ご入会キャンペーン
- 23 Introduction
ふじのくに文化情報センター通信 Vol.15
- 24 Introduction
街カル実行委員会 & 演劇ユニットFOXWORKS
ごともに、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化
- 25 Introduction
地域の活性化に取り組む文化施設
さあ、行こう！あなたの街で文化の幕開け
- 26 Exhibition
新たな出会い 感動で胸一杯な静岡の冬
2019年1月〜3月のイベント情報
- 30 Information
SPAC
衝撃作『顕れ』の作者、レオノーラ・ミアノの切なる思いとはー。
- 32 Information
静岡県立美術館 「1968年 激動の時代の芸術」
「めがねと旅する美術展」
- 34 Introduction
貸施設のご案内
イベント・展示会・大規模パーティーまで開催可能な大ホール・海
- 35 Information & Communication

表紙の絵



浦田周社 《日本平快日》2003年 410×530mm 木版画

浦田周社(うらた かねたか)
1939年静岡市生まれ。高校卒業後、家業である浮世絵処「版隈」六世を継ぐ。1976年文化庁認定重要民俗文化財選定保存技術保持者に認定。浮世絵木版画彫摺技術保存協会会員となる。1994年静岡市芸術文化奨励賞受賞。1999年静岡県文化奨励賞受賞。2016年静岡県知事表彰受賞。2016年静岡産業大学内に「浦田周社木版画美術館」開館。構想から彫り、摺りまで自ら手がけ作品を制作する一方、伝統技法の継承保存や版画の伝承、普及に尽力する。白日会会員、国際浮世絵学会会員、東京伝統木版画工芸協会会員、静岡県版画協会顧問。



つながる、未来を拓く世代たちはここ!

ダンス

熱意を込めたパフォーマンス

静岡県立清水西高等学校 体操部



1,2年生の女子総勢31名で活動中。「部員の半数以上が高校入学とともにダンスをはじめました。そのため、技術的にはまだまだ未熟ではありますが、一生懸命に踊ります!」。当日は、日頃の練習の成果を爆発させてくれそうです。熱意のこもったダンスに期待しましょう。

会場を盛り上げる元気なダンス

日本大学三島高等学校・中学校 ダンス部



「こんにちは!今回はオーケストラの方々とコラボレーションさせていただきます!精一杯踊るので、みなさんも一緒に『春の音楽祭』を盛り上げていきましょう!」。明るく元気いっぱいの日大三島高校・中学校ダンス部のみなさん。観客からの拍手もダンサーの力に変わります。熱いエールを。

バイブスが高まる迫カステージ

KENKEN DANCE FACTORY



大ホールのステージには何回もご出演いただいているKENKEN DANCE FACTORYのみなさん。「今回出演させていただけることが本当にありがたく、メンバー一同、気合は充分です!ダンス曲「宝石の国」で精一杯会場を盛り上げます!」とエンジン全開のようです。実力派ダンスグループのパフォーマンスにご注目。

コーラス

大舞台で混声合唱にチャレンジ

静岡県立清水西高等学校 合唱部



清水西高校合唱部のみなさんは、今年から混声合唱に取り組んでいます。「今回、オーケストラと一緒に、しかも、こんなにも大勢で歌うのは初めてです。部員一同緊張していますが、とても楽しみにしています!」。初めての大舞台。たくさんの刺激が素敵なハーモニーに表れそうです。

奏でるのは幸せのハーモニー

日本大学三島高等学校・中学校 合唱部



歌を聴く時、歌う時、どんな気持ちになりますか。日大三島高校・中学校合唱部のみなさんは歌っている時、とても幸せな気持ちになるそうです。「歌っている時の幸せを、お客さまにお届けします。そして、私たちの歌が、会場に居るすべてのみなさんの絆を生み出すきっかけになればうれしいです」。

パワフルな歌声が会場に響く

静岡大学混声合唱団



「このように大規模なイベントで歌うのが初めてなので、とても楽しみです!団員一同、精一杯がんばります!」と意気込みも充分な静岡大学混声合唱団のみなさん。今回唯一の大学生の合唱団、鍛え抜かれたパワフルな歌声を、グランシップの大ホールいっぱいに響かせてくれそうです。

出演者の声

静岡県立清水西高等学校 体操部

観客のみなさんに伝わるような熱いダンスを!



ダンス未経験者が多い中、幅広いジャンルに取り組み、バレエのバレエも取り入れて練習しています。日頃の成果は、6月の文化祭や福祉施設のイベントなどで発表しました。今回、映画「グレイテスト・ショーマン」で使われた「This Is Me」を踊ります。振り付けに気持ちが込められた曲なので、お客さまに感情を伝えられるようにアピールしたいです。大きなホールで普段どおりのフォーメーションが保てるか不安もありますが、がんばりたいです。

出演者の声

静岡県立清水西高等学校 合唱部

共演者のみなさんと切磋琢磨して吸収したい!



定期演奏会とコンクール、高校生コーラスフェスタ以外には、老人ホームや児童クラブのボランティアで歌った経験はありますが、グランシップの大ホールのような大きい会場は初めてです。いろんな曲を歌う大変さより、学べることの方がたくさんありそうととても楽しみです!オーケストラの演奏で歌うのも初めて、他の団体と共演するのも初めてという「初めて」づくし。不安もあるけれど、みなさんの技術を盗むくらいの勢いで切磋琢磨したいです。

オーケストラ
Orchestra
静岡フィルハーモニー
管弦楽団

指揮
Conductor
松沼 俊彦

スペシャル
ゲスト
Special Guest
May J.

グランシップ20周年記念

グランシップ 春の音楽祭2019

二十歳を迎えるグランシップと静岡の未来を描く仲間たちとで創る、歌とダンスのエンターテインメント。未来へ踏み出すパワーとなるステージが誕生します。

躍動の絆

バンド
Band
Akira Nakamura & friends
中村 亮

コーラス
Chorus

静岡県立清水西高等学校 合唱部
日本大学三島高等学校・中学校 合唱部
静岡大学混声合唱団

ダンス
Dance
静岡県立清水西高等学校 体操部
日本大学三島高等学校・中学校 ダンス部
KENKEN DANCE FACTORY

「うたう」「おどる」「であう」みんなで創る、新たなステージ

2019年3月に開館20周年を迎えるグランシップで、新たに歌とダンスのステージ「春の音楽祭」が華やかにデビュー。静岡の高校生や大学生たちが、第一線で活躍するアーティストとともに、世界にひとつの舞台を創ります。

静岡県の「文化創造と交流の拠点」として生まれたグランシップ。これまで国内外の優れた音楽や伝統芸能など、さまざまな文化芸術を県民のみなさまにお届けしてきました。20周年を迎える今、未来の静岡を担う若者の新しい出会いやつながりを願い、今までにないステージが誕生します。

まず、注目したいのは、多彩な顔ぶれです。静岡の高校生や大学生によるコーラスやダンス、地元オーケストラ、プロの指揮者やドラマー、ゲスト歌手…。この日限りのコラボレーションはエネルギーあふれるひとときとなるでしょう。

その舞台となるのは大ホール・海。メインステージから突き出し、客席にぐるりと囲まれたアクティングエリアで、ダンサーが縦横無尽に踊るといって、グランシップならではの設定。迫力ある演奏、躍動感あふれるパフォーマンスを間近で楽しめます。照明や映像のシンクロなど、さまざまな演出を楽しむのも魅力のひとつ。ステージとオーディエンスが一体となる瞬間を味わえるはず。

当日は、この日のために静岡にゆかりのある16〜30歳から公募した春の音楽祭イメーシングをお披露目。たくさんの応募の中から選ばれた楽曲を、出演者全員で熱唱します。

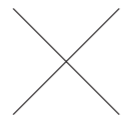
二十歳を迎えるグランシップが、未来を拓く世代と創る、歌とダンスが織り成すエンターテインメント。観客のみなさんも歌って、一緒に楽しみましょう!

思いもよらないハーモニーに出合えそう。(松沼)
ボーダレスで楽しいステージを創りたい。(中村)

静岡のみなさんとの
一日限りのコラボレーションをお楽しみに!



指揮者
松沼 俊彦



ドラマー/作曲家/ミュージックディレクター
中村 亮
(AkiraNakamura&friends)



スペシャルゲスト
May J.

Q.イベントに対する印象は?

松沼 ジャンルを超えた(クロスオーバー)ステージというところに興味がありますね。クロスオーバーは、複数の音楽を足しただけでなく、副産物を生み出すエネルギーを持っているところが面白い。それに、今回はダンスも加わるんでしょ?未知なハーモニーに躍動的、視覚的な面もシンドロイしたら、最高にカッコイイじゃないわくわくしますね。

中村 さまざまなジャンルの方々と演奏するのが好きで、絵かきとのデュエットやダンサーとの即興演奏…、普段からチャレンジしています。もちろん、クラシックも好きですよ。今住んでいるベルリンでは、ベルリンフィルもよく聴きに行っています。だから今回、さまざまなジャンル、顔ぶれが混ざり合うことでボーダレスな面白いステージになりそうだと、とても楽しみにしています。

Q.共演者への想いを聞かせてください。

松沼 ドラムなど、リズムセクションがピシッと決まると、演奏全体が締まるんですね。ドラムの躍動感に他の奏者が集まってきて、一緒になって高まる。だから、僕がやることはないんです(笑)。みんなを信じて、「決めてくれたら最高!」と思いつつ振るだけです。だから中村君、よろしく!(笑)とはいえ、静岡の演奏家の方々は、その“集まり方”が分からないかもしれない。そこは柔軟に対応できるように、僕がサポートしていけたらと思っています。

中村 松沼さんは、初めて一緒に演奏したときも同じことを言ってくれました。その言葉で、とてもやりやすかったので、今回も気持ち良く叩けそうです(笑)。僕は、プロ、アマチュアでミュージシャンを区別することはないので、誰とやろうとも演奏スタンスは変わりません。自分を追い抜けるような演奏をして、楽曲の求めることに応える。バンドメンバーも同じ気持ちです。静岡の皆さん、そして松沼さんと楽しいステージを創りたいですね。

Q.静岡のみなさん、共演者の方にメッセージをお願いします。

松沼 人の心は、楽器の音が心をコントロールするのか、ハーモニーが奇跡を起こすのかは分かりませんが、思いもよらない現象を引き起こすことがあります。今回静岡の皆さんと合わせたときに、出合ったことのない音に出合えるかもしれないと、とても楽しみにしています。人間にしか成し得ない奇跡を出演者、お客さまと共有できたらうれしいです。当日、会場でお待ちしています。

中村 とにかく楽しんでもらいたいですね。今回のバンドメンバーは音楽が大好きで、いつも演奏を楽しもうというスタンスで弾いています。きっと一緒に合わせたら、みんな悔しくなると思いますよ。「あれぐらい楽しまなきゃ」って(笑)。テクニックの問題ではなく、音はハートでシェアできるんです。そんな最強メンバーなので、何も心配しないで思い切り演奏しましょう。



中村 亮

パーカー音楽大学を2001年に卒業後、フリーランスのドラマーとしてアメリカで活動をスタート。古典ブルースから、変拍子やドラム・ベースまで柔軟な音楽性と様々なリズムアプローチを持ちジャズ、ロック、ポップスからワールドミュージックまで様々なミュージシャンのドラマーとして活躍中。ミュージックディレクターとしてもアメリカ、中国、日本で多数のミュージシャンのライブをサポート。現在はベルリン在住。

松沼 俊彦

東京芸術大学器楽科卒業、東京音楽大学指揮科研究生修了。1998年東京シティ・フィルと共演し正式にデビュー。2002~3年大阪シンフォニカー交響楽団(現 大阪交響楽団)副指揮者を務める。2002年ブダペスト国際指揮者コンクール優勝。2004年第1回マラー国際指揮者コンクール第3位受賞。これまでに指揮を紙谷一衛、広上淳一、L.ハーガー、故E.アッセル、湯浅勇治の各氏に師事。



©Fujisato Ichiro



May J.

日本、イラン、トルコ、ロシア、スペイン、イギリスのバックグラウンドを持ち、幼少期よりダンス、ピアノ、オペラを学び、作詞、作曲、ピアノの弾き語りもこなす。圧倒的な歌唱力とパワフルかつ澄んだ繊細な歌声、ポジティブなメッセージが幅広く支持される。ディズニー映画「アナと雪の女王」日本版主題歌(エンドソング)を担当し、第65回紅白歌合戦初出場。2018年7月、累計100万枚を突破したカバーシリーズ最新作「Cinema Song Covers」をリリース。

—静岡の印象は?
静岡にはライブで何度も伺ったことがありますが。とても温かい人たちがばかりで、一緒に盛り上がりたてた思い出がたくさんあります。静岡といえば、私はうなぎが一番好きなので、日々のご褒美として食べられるのをとても楽しみにしています。

—近年、N響やCD制作などオーケストラとの共演も多いそうですね。
オーケストラとの共演では、映画音楽は欠かせないものだと思っています。特に、ホイットニー・ヒューストンやセリーヌ・ディオンは小さい頃から聞いていて大好きな曲も多いので、歌うことができて本当に感動しています。弦楽器の響きと歌との相性はとても良く、オーケストラとの共演は大好きです。一つになって音楽を届けられる素晴らしさを感じています。

—今回は静岡のオーケストラや学生たちとの共演になります。
—今回は静岡のオーケストラや学生たちとの共演になります。

夢に向かって頑張っている方と共演するとパワーをもらえます!私自身、歌手の先輩方に刺激をもらって成長できていると感じているので、今回、皆さんの良い思い出になり、夢に挑戦するきっかけや後押しができたらいいな、と思っています。

—当日が楽しみです。
日々の静岡、とても楽しみです! May J.を見たことがない方にも楽しんでもらえるような音楽を届けたいと思っています。学生さんとのその日限りのコラボレーションも楽しみにしていてください!

—最後に、共演する方々へメッセージをいただけますか?
本番に向けて一生懸命練習されていると思います。楽しみにされているお客様のためにも、全てを出し切って素晴らしいステージにしましょう!この日だけのスペシャルなハーモニーを楽しみにしています。

グランシップ春の音楽祭2019~躍動の絆~

3/10(日) 15:00開演(14:15開場) ■ 大ホール・海

■ 全席指定/S席2,500円 A席1,500円 こども・学生1,000円(3歳以下入場不可、4歳以上チケット必要)

【曲目】 「にじいろ」「365日の紙飛行機」「For the beauty of the earth」
映画「インディー・ジョーンズ」より「レイダース・マーチ」「世界に一つだけの花」
「グランシップ春の音楽祭2019」イメージソング 他

練習の様子や最新情報をチェック!

「春の音楽祭」ツイッター
@gship_haruon



グランシップ出前公演

2018年しずおか連詩の会 in 浜松

発表会レポート



2018年10月26日(金)浜松城公園にて



みんながいることで驚くような連詩になった。
そういう力、可能性を実感できたことが嬉しかった。

古川日出男

小説家。「アラビアの夜の種族」で日本推理作家協会賞、日本SF大賞。「LOVE」で三島由紀夫賞。朗読家としても活動。初参加。



旅人の目線で浜松を読みました。
様々な人とのつながりの中で、
大きなうたげになりました。

カニエ・ナハ

詩人。エルスール財団新人賞。詩集「用意された食卓」で中原中也賞。装幀家としても詩集を多数手掛ける。初参加。



音楽について考えるきっかけになりました。
浜松が詩にたくさん盛り込まれ、
街も喜んでいてほしい。

小島ケイタニーラブ

音楽家・歌手。浜松市出身。「NHKみんなのうた」やCMソングを手掛け、朗読劇や舞台監修にも携わる。現在は中国・広州在住。初参加。



目の前の人が言葉を持つって、
こんなにも幸せなことなんだと実感しました。
濃密な時間でした。

文月悠光

詩人。「適切な世界の適切ならざる私」で中原中也賞、丸山豊記念現代詩賞を最年少受賞。エッセイなど幅広く活動。2回目の参加。

音に包まれた会でした。
多様なジャンルの詩人が交わり、
連詩も変容、
拡大したと感じています。

野村喜和夫

詩人。13回目の参加。2009年より創作の場をまとめる「さばき手」を務めている。戦後世代を代表する現代詩人の一人。



と書いて、「傘に文字飛びうつる」のは雨粒。満ち潮に雨が降りかかっている景色が見えました。この詩は三日目の朝、ホテルで作りました。二日目の夜、男性陣は飲みに行かれましたが、私は疲れをとるためにホテルで早めに休んでいたんです。
喜和夫：飲みに行った帰り、雨に降られて傘を買ったんです。翌朝、文月さんの詩を見ると、「詩人の傘に文字飛びうつる」と書いてある。昨夜の出来事を知らないのになぜ？言葉が現実を越えた瞬間でした。

音楽のまち浜松で 言葉の変奏曲を奏でる

連詩とは、連歌や連句の美学をベースにした創作現代詩。「しずおか連詩の会」の提唱者でもある詩人・大岡信により始まりました。19回目となる今回は、三年ぶり二度目の浜松の地で創作。多芸多才な詩人たちが五行詩・三行詩を交互に編み、音楽の街に言葉の変奏曲を響かせました。発表会では、浜松市出身の音楽家・小島ケイタニーラブさんがギターを生演奏。詩の世界観を映し出し、本会に新たなページを刻みました。ここでは今回の「子らが 子らが」の全編と、発表会で語られた詩人たちの解説の一部をご紹介します。

【第一番〜第五番の解説】

日出男：宗匠の野村さんに突然発句を指名されて、ウナギしか考えつかなかった(笑)。ウナギは生まれてから何度も「形態変化」する。それが新幹線や連詩と重なって。連詩の始まりをうたいました。

悠光：ウナギと聞いて、前日に一人で観光した浜名湖の館山寺が浮かびました。「希少な子」は私たち連詩の書き手の5人。連詩の会の歴史を思い「回遊の記憶」に込めました。

喜和夫：今年は、詩人ギョーム・アポリネールの没後百年ということで、彼のことを書きたかった。そしたら文月さんが「私生児」と投げってくれたので「これだ」と。

ケイタニー：死んだアポリネールが

トゥシューズに宿り、踊り出すという、死からの再生です。「屋根の上の牛」は、彼の死から二年後に誕生したバレエ曲。「口琴の塔」はアクトタワー。

ナハ：ケイタニーさんの数字を引き継いで「五味八珍」や「三ヶ日」で数え歌を作りました。一行ずつ背を高くしてマトリョーシカ風に。ランチをしたロシア料理店にあったので。

【第十四番〜十六番の解説】

日出男：もともと七番の詩は句点で終わっていましたが、進行の途中で消されました。文月さんは今回、句読点を使わないと言っていたから。でも、十三番で読点が使われたので、あの句点を拾いたいと思ったんです。句点が踊るように配置して「O氏(大野)雄さん」の舞踏譜を引き受けた。大野さんの誕生日が創作期間中の10月27日だと知り、祝福の想いも込めて。

ナハ：十四番のエネルギーに感化されて、六番で古川さんが消したスラッシュを拾おうと。内容は、コンコルドホテルでのランチです。コンコルドから、ボサノバの名曲「コルコバード」、名盤『ゲッツ/ジルベルト』へつなぎました。

ケイタニー：言葉のチャレンジが続いたので、ここはミュージシャンとして演奏記号を使おうと。真っ直ぐ進んできた言葉の道を、セーニョとタルセーニョで戻れたら面白いかなって。「ゲッツ/ジルベルト」からサククス、楽器の運命と詩人を重ねてみました。

【第二十三番の解説】

悠光：時には曇ったり、雨に降られたりしたほうが、連詩の旅は締まる

一	「本日は形態変化しつつ運行します」と車内アナウンス そのことに母はたいへんに驚いてしまった 新幹線の通路の両側でも あらあらの声 ころころの声 そこから三駅分のあれやこれやこれは省略 子らが ホームから下りると詩がはじまる	日出男
二	湖上の岩は 希少な子を匿いながら 回遊の記憶を紡ぎはじめた ここへ連なる 言葉の私生児たちよ	悠光
三	ええ ルーツはポーランド系の貴族らしい 私自身はフランス人になりたくて ミラボー橋の下 セーヌは流れ なんてうたって それから志願兵になり 不意の隕石のような流れ弾にあたっ 死に至るのでした	喜和夫
四	二年の眠りから覚め トウシューズは踊り出した この永遠の18分間は お持ち帰りできますか 屋根の上の牛、は今宵 口琴の塔に立つ	ケイタニ
五	三ヶ日みかんのミカちゃん 五味八珍で ギョーザをたべた ロクとする寅桶ローレルする宗一郎 について語りあひながら五味八珍で ざんざんざんざんざん ギョーザをたべた	ナハ
六	にもかかわらず林檎を握りつぶし 八角形の糞(クズ)準備して さようなら数 おはよう夢―導師の師の声	日出男
七	怖がらなくてよいのだと 卯プリンの満月のささやき 急須から ぽうつと漏れる光とともに スプリンの先で解きほぐす夜 欠けていく覚悟を 月に教わろうとしている	悠光
八	鳥よ 公理として言うなら どんなに空中を自由に飛び回っても おまえはおまえの影のうえに降り立つしかない	喜和夫
九	おがくず、火の粉、舞い上がり 会いたい気持ちに燃え移る なぜにこんな悲しがる 空は真つ赤な夕焼けぞ 初恋ドローンはどこにも行けない	ケイタニ
十	風らが風がおいしやいしよと舞って絡まって切りあつて 風が風が ほく牧水はやぶれかぶれでがぶがぶと呑んで吞まれて泥濘です泥水です	ナハ
十一	Passed passed the PATH train the PATH train's passed away 寝ぼけマナコあの娘が羅針盤で ニュージャージーを指指して 朝焼けを越えて走って スマホのチャタンが光ってる	ケイタニ
十二	それとも結婚が、大きな欠伸をした、したのだった、 口を赤のOのかたちにして、 Oのなかはくらやみ、血の透けた肉色のくらやみ、 つほみの沈黙を経て 花は、 死という名の腐敗によって生き血を流す	悠光
十三	「花に わたしを喰べてほしい」 O氏の舞踏譜に文字がこぼれる つほみの沈黙を経て 花は、 死という名の腐敗によって生き血を流す	喜和夫
十四	。句点を。。種子のように。。。地に。。。蒔いて 、挿し込んでもええええ、。読点に、舞わせて、。。。、 祝福するね	日出男
十五	／コンコルド、／／シヤンゼリゼー、 ／／アルファルファ、／／バルサミコデ、 ／／、／／、／／、 渦巻ピーツ疾駆セヨ！／渦巻ピーツ疾駆セヨ！ ／／(コルコバードは「ゲツツ／ジルベルト」の何曲目だったか？)	ナハ
十六	木管なのか、金管なのか、それともこれは愛なのか 名付けられたものだけが博物館の扉を開けていく 名前落としたD.S.詩人らよ、それとも君らが夢なのか たどへそれがword's endの風景だとしても 楽しいらうと思ふ 私は自ら 捕虫網となつて彼女たちを追つて行かう	喜和夫
十七	胎動の響きに耳をゆだねて 終わらない夜明けを 彼方の遠雷を この腹に受けよう	悠光
十八	（あたしたち二足歩行をおぼえました と、囁いてみました （あたしたちハローハローハローって言います 残響あります？ （ありがとうございます 蟻が十御座います 働き蟻なのねあたしたち それでさあ （あらあんな知らないお？ 働き蟻って不完全な雌で女王蟻になれない あっ―― （あつ、でも、こんな三対の脚で二足歩行して、これは進化じゃないんですけれどお この残響渡しましたからね？)	日出男
十九	秋の風がふくのよねえ――、あたし規則ってきらいなの――。 あの子の紅いストールが――、はつ、と紅くて美しくつて――。 インドで死んでも探さないでね――、それが本望なんだから――。	ナハ

二十一	私は何も計画しない また何にも約束されていない ただ賭けをするだけだ 競馬場で外れ馬券を握りしめたときのようないま私を襲う、えもいわれぬすがすがしさ	喜和夫
二十二	ハママツの街から走る無数のバイクほんとはカモメだ みずうみの水面に映る無数のカモメのつばさが本だ 仕事が早く終わらないんだ君に君をええいペブシコーラだペブシコーラだ	ナハ
二十三	二本の矢は 青く雲突き抜けて 朝日の走る道をつくった 曇天は旅の帯締め 詩人の傘に文字飛びうつる あけ潮に秋雨よ降り 秋雨よ降り	悠光
二十四	秋風秋風 秋雨天 雨打雨打 下下雨 光芒光芒的 鼠的鼠	ケイタニ
二十五	さいたのきかないのさいたらばさいてね わらったのわらわらないでねないてしまふよりはね ナイタほうガ ヨイのかもネ だからスコシ 片仮名ワイク 併せて漢字モ 泣きながら鳴きモデキル 地平線見ゆる車輪ある其処を指す 我等、if we all would have eyes.	日出男
二十六	ほらまた崩壊のプログラムが作動したそのつどのガレキを裏返し 祈念だの猶子だのがひろがる涙をの涙が立ち上がり 壁となりそれがまた炎上するのだ	喜和夫
二十七	蛾・魚・流(ガ・ナ・ル)音がする！ 異・火・津(イ・ビ・シ)に石と石とを重ね 鏡・石 馬ルビゾンへ歩むミレイ(ドラマチックに) 馬・舞・詩・以(マ・ブ・シ・イ)	ナハ
二十八	そのとき城門を押しひらく緑の泡 円らな瞳 鈴のように水を駆けのぼり、 薄月夜、利口な栗鼠のみ生きさらばえる	悠光
二十九	堆積していく 堆積していく貝層 マフグにクロダイ、アカエイ、スズキの回想 サラバを重ねて 鯢をほおばる縄文人は 北北東に発信中	ケイタニ
三十	交戦中 超常現象多すぎる君の人生 手相を見たら川のひとつ文字	日出男
三十一	ある、きつとある、境界のうえに立ち、 ふたつの領域にまたがるといふ喜びとおのき、 たどえば幽と明、精神と物質のあいだを、 空飛ぶ円盤がみえかくれしている、 まれに乳房や享年も。	喜和夫
三十二	「少年は答えを持ちません」 そう少女たちは言い切つて 断言力に驚いた私は、ルビひとつで私。転換完了	日出男
三十三	ハイホウ、ハイホウ、我が肺胞 ためたため息、血に交えて 感嘆符を送り出す 肉に宿りし ジャズに乘せ 筆を握りし その指へと	ケイタニ
三十四	届きたいレコードの閃き。 まなざすことで再生の針は落ちる。 劇場の宙に声の果をけなさい。	悠光
三十五	(ね あたしたちまるで もものかんづめだねえ) (かつたりいか) (こちらら そんなこといつちやあけけないよ) (かあちゃん びっくりするな きつと) (うん びっくりするね きつと)	ナハ
三十六	いつからか 私たちの生は桃めく苦惱の括弧だらけだ しかしそれらの桃めく苦惱の括弧は べつとの生への入り口であり あるいはべつとの生からの出口である	喜和夫
三十七	果実の内側を剥り貫いて舟を作り彼らは乗り込んだ。行く先は決ま つてて此の国で、そのために川を渡る。それも大河だ。大河なんだ。 積み込んだ食糧では足りない。でも彼らにだつて智慧はある。舟の 内側を少しずつ齧る。齧り出す。いつまで保つのだろうか？ だけ れども愛いたつて始まらない。始まらないのだから。だから。行け。	日出男
三十八	ヨウジョウハルカニヨロコビヲ オウサンジュウビノヨロコビヲ モウサンジュウハチデスネ	ケイタニ
三十九	十一年後のわたしへ ココニイル ことはの館をあとにして もうじき平成のフィルムも尽きていく。 詩と人は、こんなにも含み合う。 先駆けて未来を記す装置であれ。	悠光
四十	このまちはひとつの楽器 曲線を歩けばほくら 音符になって モンバルナスのスキになって、ピアノはかえでの木々になって おりおりは、おりかさなつて うたは岸壁 つぎのうた 待つ	ナハ

創作 2018年10月25日(木)～27日(土) アクトシティ浜松研修交流センター

発表会 2018年10月28日(日) アクトシティ浜松 音楽工房ホール

創作現場 & 発表会 潜入レポート



創作2日目の10月26日(金)。ランチを終えた詩人の御一行は、浜松市生まれの城好き小島ケイタニラブさんのガイドで浜松城公園を散策。創作部屋へ戻ると、カニエさんの十五番が完成。記号にあふれた斬新な詩に、一堂が「おおー」。実は、古川さんがアスリートのように前傾姿勢でスピーディーに書いた前の詩を受けて、早く書きたいカニエさんの気持ちと裏腹に、ランチに連れて行かれてしまったレストランから生まれたこの詩。休憩時間、お昼の時間もすべて創作の現場に。「朗読する時、工夫したいね」と、わくわくした空気が広がっていました。



秋晴れに恵まれた10月28日(日)の発表会。作者自身による迫真の朗読や、ギター伴奏が展開され、詩の情景が広がるようなその場の空気にお客様も息を呑みます。挙句を詠み終えた後は拍手の雨。「朗読でこんなに拍手をもらった記憶はない」と、野村宗匠。誕生秘話を熱く語る詩人たちの解説に、会場内も時に笑い、時に「うん、うん」とうなずきながら連詩を味わいました。



【第二十四番の解説】
ケイタニ：「秋雨」を中国語で発音するとチュウ・チュウ・チュウ、；、ネズミが現れた。「秋雨よ降り」の下に「悠光」。「光」に降つたのだと。
【第三十六番～四十番の解説】
喜和夫：連詩全体が変容していると感じていたの、ここは哲学的にうたおうと。三十五の括弧を、別の人生との入り口であり、出口として表現しました。情報が少なく苦勞しましたね。
日出男：小説家として、詩の言葉投げ返したいと思いましたが、「桃」から桃源郷を連想し、そこへ向かう人々の物語にしました。桃源郷を「妣の国」に。連詩をいい形で締めてほしくて、小島君に「行け」と。
ケイタニ：「舟」に乗っている僕たちへ電報を書こうと。「ヨウジョウハルカニニ祝福する気持ちで」「モウサンジュウハチデスネ」は、もうすぐ38歳を迎える僕のことであり、この連詩のことも込めています。
悠光：「モウサンジュウハチデスネ」を繰り返して読んでいるうちに、11年後の私へ送っているように感じました。詩を通してみなさんと含み合えた歓び、言葉が現実の先を行く不思議さ、今感じていることを素直に。
ナハ：浜松駅のまわりは曲線が多くて、音楽を奏でているような気持ちになりました。このチャンスで折り重なった連詩だという思いと「折々のうた」を書いた大岡信さんへの敬意も込めて、「おりおり」。次回の連詩を願い、「つぎのうた待つ」で締めくくりました。

vol.16 お正月のゆくえ…

師走も数日の二十四、五日ともなれば、東京では町の角々にお飾りをする小屋が立ち、気ぜわしいような、めでたいような心持になるものです。むかしの歳時記などを開きますと、江戸では十二月八日に家屋敷の煤を払い、神棚に清拭をかけ、年神の棚を設けて正月様をお迎えする用意を始めるとあります。これを「こはじめ」と称えました。

これが関西では十三日となり、現在でも祇園町の芸子舞子が鏡餅を携え、京舞の家元へ挨拶に出ます。その艶に華やかな様子は、毎年、NHKの報道番組で放映していますが、こうした行事は京都の花街に限りません。かつては日本各地の町や村でも、それの伝承に順った作法で行われるのが当たり前でしたから、静岡県でも古風なお宅では独自の「こはじめ」を守って居られる事と存じます。

そう言えば、季節は異なりますが、中秋の名月へのお供えとして、遠州では「そだんご」なる権現様ゆかりの菓子を用意なさると聴きました。

それと同じように、正月の鏡餅や雑煮や節供料理なども、やはり静岡県内の各地に伝わる品々を年神様に

供え、おすべりを御一緒に召し上がり、心身を活性化なさっていることでしょうか。

雑煮ひとつにしても、関西は味噌仕立ての丸餅で、関東は澄まし汁に切餅と大づかみに言われることが多いのですが、私の故郷の熊本では昆布と鯛で引いた澄ましに丸餅でした。

さらに言えば、同じ九州でも奥深い地域では餅は入れず、東北地方と同じように、里芋や大根や粟を煮るのが本格と聴いて居ります。

このように、西から東に長く列なる島国である日本の暮らしの彩りは豊かであり、どれも同じ画一的なものではありません。これを近來流行の言葉で申さば「多様な民俗と云うことになりましようか。

あるいは音楽に例えるならば、変奏曲が多ければ多いほど、その国の文化は豊かである、と云うことになるのです。

実際、地域ごとの風土に培われた信仰によって、正月を初めとする年中行事の形に幾分かずつ独自性が見られ、静岡県と愛知県や長野県を比べると違いがあり、同じ静岡でも海側と山側では異なるし、同じ町内でも我

が家とお隣りとは少し違う——と云うのが本当であります。

と言うのは、その年の豊作を約束するために訪れる年神様は、その家の先祖の霊でもあり、それゆえに家ごとに伝承された迎え方があるわけです。

しかし、平成以来の人心の変化により、それらの家の生活の古典は忘れられ、正月と言えば氏神へ詣でるよりはパワーが強いと評判の遠方の神社、祝いの重宝は百貨店やスーパーで取り次ぐ「おせち料理」、鏡餅はコンビニで売る真空パックのお手軽さと言うように、どれも商業的に成功したものがばかりになりつつあります。

それより何より、暮れから年明けに掛けて旅行に出る人も多く、せっかく訪れて下さった年神様も、お留守では戸惑いをなさるのではないでしょうか。

お正月の本来が分からなくなり、カレンダー上の単なる長期休暇になるまで、そう長くは掛からないのではないかと思えば、心が暗く鎖されるようです。

これが正夢にならぬよう、初春の枕に敷いて流す厄払い、宝船ならぬ電車に乗って、初夢の呪符を頂きに参ろうと存じます。

伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。 岩下尚史



写真：青木信二

グランシップ伝統芸能シリーズは、2020年に向け「日本を知ろう」をテーマに、能楽・文楽・歌舞伎など、日本の伝統芸能に親しむプログラムを展開。今年度は文楽にスポットを当て、4月に竹本千歳大夫さんをゲストに招いた講演会を開き、7月には、子どもたちに向けた体験型の文楽公演を開催しました。そして、8月には三谷文楽「其礼成心中」を上演。そして、いよいよ本格的な文楽を鑑賞できる機会として、浄瑠璃三大傑作のひとつ「義経千本桜」、お染久松で知られる「新版歌祭文」を上演します。

「人形浄瑠璃 文楽」の醍醐味は、人の世の機微や愛情表現の妙技。昼の部の「義経千本桜」すしやの段は、いがみの権太という「ならずもの」が悪行の末に改心するも、誤解されたまま父親に刺されてしまうという悲劇。苦しみながら本心を明かす権太の語りや動きにご注目ください。

夜の部の「新版歌祭文」野崎村の段は、恋敵でありながら、愛する人の



写真：青木信二

心中を止めるために身を引くおみつ
の悲恋物語。当時の庶民の身の上
に起る出来事が、現代の私たちにも
起る日々の喜びや悩みにも通じるこ
とを感じられます。

今年初めて文楽に触れた方に、ぜひ
ご覧いただきたい名作。あらかじめ、
登場人物や人間関係などをチェック
しておくと、より深く楽しむことが
できます。その学びの場として、事前レ
クチャー「山川静夫のここがみどころ・
ききどころ」もオススメ。今も人も人
気の人形遣い・吉田一輔さんをお招
きし、普段見られない技芸や人形の
仕組みを、実演を交えながらご案内
します。

グランシップ伝統芸能シリーズ 人形浄瑠璃 文楽

3/23(土) 昼の部13:30~/夜の部18:00~
 ■中ホール・大地 1階席3,600円 昼夜通し券6,480円 こども・学生1,000円 2階席1,000円
 【演目】 昼の部:「義経千本桜」~椎の木の段~すしやの段 夜の部:「義経千本桜」~道行初音旅、「新版歌祭文」~野崎村の段

チケット購入者限定 特別イベント「わかる!文楽入門講座」
 公演に出演する技芸員が、太夫、三味線の役割や実演などを間近で解説します!
3/23(土) 17:00~17:30 ■6階交流ホール
 [本公演のチケット購入者限定] 入場無料・予約不要(直接会場へ)
 講師:竹本織太夫、鶴澤清志郎

「人形浄瑠璃 文楽」事前レクチャー
 山川静夫のここがみどころ・ききどころ
 ~文楽人形遣いにせまる~
1/29(火) 14:00~ ■6階交流ホール
 全席自由/一般1,000円 こども・学生500円



TV・ラジオでコメンテーターとしても活躍。
作家・岩下尚史氏のコラムが好評連載中。

岩下尚史(いわしたひさふみ)…作家。國學院大學客員教授。新橋演舞場(株)退社後、芸者の発生と変遷について著した『芸者論』にて、新人としては異例の第二十回和辻哲郎文化賞を受賞し、本格的な作家活動を開始。その他、三島由紀夫の恋人への取材を基に書き下ろした『見出された恋』、『ヒタメン』などの著作がある。また、日本の伝承芸能や古典的な暮らしについてのエッセイ等も多数著している。現在、季刊『美しいキモノ』(ハースト婦人画報社)、月刊『銀座百点』(銀座百点会)にてエッセイを連載中。近著『大人のお作法』(集英社インターナショナル刊)が好評発売中。



これを見ずして文楽を語れない



H ZETTRIO LIVE “WITH US” in GRANSHIP

グランシップだけの「特別」を引っ下げた
最大規模のエンターテインメント

卓越した演奏技術とエンターテインメント性あふれるパフォーマンスで、ジャズを身近な音楽へと進化させ続けるピアノトリオ H ZETTRIO (エイチ・ゼットリオ)。その名前を知らない方も、楽曲は耳にしたことがあるでしょう。2016年、リオ五輪閉会式で注目を集めた安倍首相のスピーチパフォーマンスシーンで使われていたといえ、納得できるはず。魅力は、キレのあるリズムセクションを武器に、超絶技巧のピアノが弾けるアンサンブル。世界最高峰の「モントルー・ジャズ・フェスティバル」への出演、CM、BGMへの起用など折り紙つきの実力です。

今回のグランシップでのライブでは、様々なスペシャルコンテンツを引っ下げ登場します。「ポイ」を操る最先端のアートパフォーマンスは、マジックのような仕掛けに注目を。2019年は、毎月一日、12カ月連続で新曲を発表し、元旦には『Journey』を配信リリース。同曲をライブのイメージソングとし、ミュージックビデオの撮影を行います。

どれほど大きな舞台でも、観客全

員と空間を共有するというスタンスを崩さない H ZETTRIO。大人はもちろん、子どもたちも大歓迎！「老若男女、誰でも笑って踊れる」パフォーマンスで、大ホールの広さを最大限発揮したエンターテインメントショーになるでしょう。



Photo by Masataka Ishida

H ZETTRIO LIVE “WITH US” in GRANSHIP

2/10(日) 17:00～ ■大ホール・海

一般3,600円 ども・学生 1,000円(3歳以下入場不可、4歳以上チケット必要)

出演:H ZETTRIO H ZETT M(ピアノ/青鼻)、H ZETT NIRE(ベース/赤鼻)、H ZETT KOU(ドラム/銀鼻)

友の会先行販売 12月16日(日)～12月22日(土) 一般発売 12月23日(日・祝)～

「ポイ」ってなに？

「ポイ」とは、紐の片側の先に球が付いたものを両手で持って回すパフォーマンスのこと。ジャグリングの道具としても有名です。ニュージーランドのマオリ族を起源に、現在はLED技術が発達し、進化しています。今回のライブでは、最先端ポイアートを創出するクリエイティブチーム“POI LAB”とのコラボでお届けします！



シリーズI ～N響メンバーによるバロック編+野平一郎 新作「静岡トリロジー-I」～(2018年3月3日開催)

NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズII ～N響メンバーによる古典派編+ 野平一郎新作「静岡トリロジーII」～

N響精鋭メンバーが贈る
モーツァルトの名曲と新作の第二弾！

NHK交響楽団とグランシップのコラボレーションによるコンサートシリーズ「NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト」。このシリーズでは、国際的に活躍する作曲家・ピアニストであり、静岡音楽館AOIの芸術監督、野平一郎氏にグランシップが委嘱した「静岡トリロジー(3部作)」を、2018年から2020年にかけて一作ずつ披露します。野平氏とグランシップの強力なタッグにより、深遠な歴史を持つ静岡をイメージした音楽作品を、こ静岡から世界へ発信するという画期的なプロジェクトです。

2018年3月に開かれた演奏会では、その第1作となる「静岡トリロジーI 記憶(メモワール)と対話(ダイアログ)」が世界初演されました。作曲家の指揮のもと、N響精鋭メンバーによるアンサンブルが熱演。曲の終盤では、静岡県の鳥「サンコウチョウ」のさえずりが愛らしく奏でられました。

お待ちかねの第2作は第1作目のバロックの小編成から古典派の編成にクレッシェンド。シリーズ作品としてどのように発展していくのか期待がふくらみます。また、新作委嘱作品のお披露目だけでなく、時代を代表する名曲を楽しめるのも聴きどころのひとつ。モーツァルトの大人気曲、交響曲第40番をはじめとした名曲をNHK交響楽団の精鋭メンバーが演奏します。

本公演をより一層お楽しみいただけるよう、2月2日には「野平一郎のオーケストラ塾」を開催。「静岡トリロジー」や古典派作品について知識を深める貴重な機会です。ぜひご参加ください。



NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト

シリーズII ～N響メンバーによる古典派編+野平一郎 新作「静岡トリロジーII」～

3/24(日) 15:00～ ■中ホール・大地 S席5,100円、A席4,100円、ども・学生1,000円

【演奏曲目】♪モーツァルト/交響曲第40番短調 K. 550 他

事前レクチャー「野平一郎のオーケストラ塾」

世界的作曲家・野平一郎が「静岡トリロジー」や古典派音楽の魅力語る！


2/2(土) 14:00～ ■地下リハーサル室 一般1,000円、ども・学生500円(事前申込制)
講師:野平一郎

2019年1月～3月

グランシップイベントカレンダー

1/29 [火] ■ **グランシップ企画事業**

**「人形浄瑠璃 文楽」事前レクチャー
山川静夫のここがみどころ・ききどころ
～文楽人形遣いにせまる～**




■6階 交流ホール ■14:00～ ■一般1,000円 子ども・学生500円

伝統芸能に造詣が深く、楽しいおしゃべりが人気の、静岡市出身・元NHKアナウンサーの山川静夫さんが、分かりやすくお話しします。今もとても人気の人形遣い吉田一輔さんをお招きし、普段見られない人形遣いの技術や人形の仕組みを実演を交えながらご案内。
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/30 [水]・31 [木] ■ **グランシップ企画事業**

**松村秀明指揮 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
グランシップ 中学生のためのオーケストラ**



■中ホール・大地
■午前の部10:30～／午後の部14:00～
※1/31(木)午後の部の販売はございません。
■1,500円(座席は1階席後方もしくは2階席後方)
静岡県内の中学生のための1時間程度のコンサート。お手頃な価格で実力あるオーケストラの演奏を聴けるので、クラシック入門編としてもおすすめ。
曲目/ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」他
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/1 [金]～3 [日] ■ **イベント**

**静岡デザイン専門学校
卒業制作展デザイン ア・ラ・モード 2019**

■6階展示ギャラリー、中ホール・大地 他
■10:00～19:00
(学)静岡理科大学 静岡デザイン専門学校 tel.054-252-1766


1/30 [水] ■ **その他**

**平成30年度
耕作放棄地再生・活用等シンポジウム(仮)**

■11階会議ホール・風 ■13:30～16:30
静岡県農業再生協議会 tel.054-221-2617

2/2 [土] ■ **グランシップ企画事業**

**NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズⅡ
～N響メンバーによる古典派編+野平一郎 新作「静岡トリロジーⅡ」～
事前レクチャー「野平一郎のオーケストラ塾」**



■地下リハーサル室 ■14:00～
一般1,000円、子ども・学生500円(事前申込制)
「静岡トリロジー」や本公演で演奏される古典派作品について、ピアノ演奏を交えながら野平一郎氏が解説。
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/9 [土] ■ **グランシップ企画事業** ■ **音楽**

**グランシップ親子で楽しむ
ロビーコンサート**

■3階共通ロビー ■11:00～11:30
■入場無料・申込不要
〈十三絃、爪と糸が出会う〉福本礼美(箏)
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/4 [月] ■ **就職**

**マイナビ業界研究フェア
静岡会場**

■大ホール・海 ■13:00～17:00
(株)マイナビ 静岡支社 tel.054-275-3200

2/8 [金] ■ **展示**

**ふじのくに
総合食品開発展2019**

■大ホール・海 ■10:00～16:00
静岡県経済産業部マーケティング課
tel.054-221-2703

1/19 [土] ■ **就職**

マイナビ転職セミナー静岡

■大ホール・海 ■11:00～17:00
(株)マイナビ tel.052-582-1301

1/19 [土] ■ **その他**

**静岡県訪問
リハビリテーションシンポジウム**

■6階交流ホール ■13:30～16:30
静岡県リハビリテーション専門職団体協議会
tel.054-275-2985

1/20 [日] ■ **就職**

**ナース専科就職ナビ
合同就職説明会2020**

■大ホール・海 ■12:00～16:00
(株)エス・エム・エスカリア tel.0120-979-500

1/20 [日] ■ **その他**

**平成30年度
産業カウンセラー学科試験**

■11階会議ホール・風
(一社)日本産業カウンセラー協会
中部支部 静岡事務所 tel.054-254-5151

1/26 [土] ■ **音楽**

静岡音楽祭

■大ホール・海 ■13:30～17:30
静岡地方協働本部 tel.054-261-3151

1/27 [日] ■ **舞台**

■ **グランシップ企画事業**

グランシップ静岡能

■中ホール・大地 ■14:00～
■一般5,100円 子ども・学生1,000円
観世流能楽師による本格的な能楽公演。
弁慶の機転ある行動が見どころの「安宅」と、高貴な女性の嫉妬が怨みになる「葵上」に加えて狂言「榎ノ酒」を上演。



撮影:前島吉裕

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/14 [月・祝] ■ **就職**

**マイナビ
インターンシップフェア 静岡会場**

■大ホール・海 ■13:00～17:00
(株)マイナビ 静岡支社 tel.054-275-3200

1/16 [水] ■ **展示**

**平成30年度
第31回静岡県中部高等学校
定時制通信制生徒合同文化祭**

■展示:6階展示ギャラリー1 ■10:00～19:45
■ステージ:中ホール・大地 ■18:20～20:00
静岡県中部高等学校定時制通信制生徒
合同文化祭事務局(島田商業高校)
tel.0547-37-4169

1/17 [木] ■ **講演会**

新春講演会

■6階交流ホール ■13:00～16:00
NPO法人オールしずおかベストコミュニティ
tel.054-251-3515

1/19 [土] ■ **グランシップ共催事業** ■ **音楽**

**【グランシップ提携公演】
オペラ・ディ・モーダ
第14回公演 オペラ「蝶々夫人」**

■中ホール・大地 ■14:00～
■指定席/S席3,000円(完売) A席2,500円
自由席/B席2,000円
長崎を舞台にしたイタリア・オペラの名作。随所に散りばめられた日本の名曲と共に、ブッチェーニの甘く切ない音楽を。



オペラ・ディ・モーダ事務局 tel.090-7854-8439



えほんのひろば

グランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」では、約5,000冊の絵本をカーペットに座ってゆっくりご覧いただけます。ここにある絵本の貸出・返却・予約のほか、県立中央図書館の本・雑誌や、DVD・朗読CDなどの予約・貸出・返却もできます。また、毎週木曜日の10:30～と15:00～、第1・第3日曜日の15:00～は「おはなしかい」を、毎週火曜日の10:30～は「0歳からのおはなしかい」を行っています。是非ご参加ください。


1月中旬までの展示予定 **イノシシと十二支の絵本** 2月中旬から3月下旬の展示予定 **日本の昔話の絵本**
1月中旬から2月上旬の展示予定 **鬼と豆の絵本**

1/11 [金] ■ **グランシップ共催事業** ■ **音楽**

**静岡ガスPRESENTS
グランシップ&静響
ニューイヤーコンサート**

■中ホール・大地
■昼の部14:00～ / 夜の部19:00～
■2,000円 ※受付終了

静岡のプロオーケストラ・静岡交響楽団と豪華出演者を迎えお届けする新年にふさわしい華やかな演奏会。



指揮:尾高忠明 ©Martin Richardson
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/11 [金]～13 [日] ■ **展示**

**静岡大学教育学部
書文化専攻卒業書展**

■6階展示ギャラリー1・3
■10:00～17:00(最終日は10:00～16:00)
静岡大学教育学部書文化専攻 tel.054-238-4587

1/12 [土] ■ **グランシップ企画事業** ■ **音楽**

**グランシップ親子で楽しむ
ロビーコンサート**

■3階共通ロビー ■11:00～11:30
■入場無料・申込不要
〈ピアノが語るストーリー〉小林摩湖(ピアノ)
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/12 [土] ■ **就職**

保育のお仕事フェア

■大ホール・海 ■13:00～16:30
(福)静岡県社会福祉協議会 tel.054-271-2110

1/13 [日] ■ **就職**

しごとのかんづめフェア in 静岡

■映像ホール ■12:00～13:00
■大ホール・海 ■13:00～17:00
(株)静岡新聞社 就職ガイド係 tel.054-284-9018

開催中～1/26 [土] ■ **展示**

**グランシップの記録
～グランシップサポーター記録写真で振り返る～**

■3階共通ロビー ■9:00～21:30
数ある写真の中から選りすぐりの作品を一堂に公開。グランシップの公演の表側・裏側、撮影サポーターの活動の様子がわかります。
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/1 [火・祝] ■ **イベント**

グランシップ初日の出 特別開放

■10階 展望ロビー ■6:30～
元旦の特別開放。天気が良ければ初日の出と富士山を同時に見ることができます。あたたかいコーヒーなどもご用意しています。
(公財)静岡県文化財団 総務課 tel.054-203-5710

1/3 [木] ■ **イベント**

静岡市成人式

■大ホール・海 ■14:00～15:30
静岡市子ども未来局青少年育成課 tel.054-354-2614

1/4 [金] ■ **就職**

**静岡新聞
新春プレミアム就活準備セミナー**

■10階会議室 ■12:00～17:00
(株)静岡新聞社 新卒のかんづめ係 tel.054-284-9018

1/5 [土]・6 [日] ■ **舞台**

**第6回静岡県民ミュージカル
「ゴーストパライズ～闇夜の天使たち～」**

■中ホール・大地
■前売り券2,500円 当日券2,800円
静岡県民ミュージカル実行委員会 tel.0466-28-6400

1/6 [日] ■ **イベント**

ダンスパーティー in グランシップ

■大ホール・海 ■13:30～16:30 ■1,000円
静岡市ダンススポーツ連盟 tel.080-6909-3128

1/11 [金] ■ **イベント**

平成31年静岡県警察年頭視閲式

■大ホール・海 ■10:00～11:20
静岡県警察本部 tel.054-271-0110

3/23 [±] 講演会
NPO法人くすり・たべもの・からだの協議会 講演会
 ■11階会議ホール・風 ■13:30～15:30
 (特非)くすり・たべもの・からだの協議会
 tel.054-264-5625

3/24 [日] 音楽
 グランシップ企画事業
[本誌P15の詳細をチェック!](#)

NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズⅡ
 ～N響メンバーによる古典派編+野平一郎 新作「静岡トリロジーⅡ」～
 ■中ホール・大地 ■15:00～
 ■S席5,100円 A席4,100円 こども・学生1,000円
 NHK交響楽団が、世界的作曲家、ピアニストであり静岡音楽館AOI芸術監督の野平一郎の三部作「静岡トリロジー」を世界初演するシリーズ第2弾。古典派の名曲も披露。
 曲目/モーツァルト:交響曲第40番ト短調K.550 他



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/24 [日] イベント
The BALL 2019
 ■6階交流ホール ■15:00～19:30 ■5,000円
 K's Dance House tel.054-247-1218

3/28 [木] 音楽
静岡県立 科学技術高等学校 吹奏楽部 第10回定期演奏会
 ■中ホール・大地 ■18:00～20:00 ■600円
 静岡県立科学技術高等学校 吹奏楽部
 tel.054-267-1100

3/30 [±] イベント
ふじのくに 伝統芸能フェスティバル
 (静岡県文化プログラム500日前イベント)
 ■6階 交流ホール ■19:00～
 世界から日本へ、そしてふじのくにへ。芸能や文化のルーツを知り、これからどのように伝え継承していくのか。伝統芸能の実演を見て、そして共に未来を考えるシンポジウム。
 グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/17 [日] 講演会
 グランシップ企画事業
グランシップ文化講座 「地球温暖化と異常気象」
 ■9階910会議室
 ■午前の部10:30～/午後の部13:30～
 ■1回につき 一般 700円 学生300円
 通し券 一般1,000円 学生500円
 ※高校生以下無料
 講師:住明正(東京大学名誉教授)
 中北英一(京都大学防災研究所 教授)
 グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/17 [日] 音楽
 グランシップ共催事業
【グランシップ提携公演】 TAKE HEART BEAT Live Vol.4
 ■中ホール・大地 ■17:30～
 ■一般前売2,000円(当日2,500円)
 学生前売1,000円(当日1,500円)
 ビッグバンドジャズの魅力に加え、EWI(電子サクソ)やダンスなど、多彩なパフォーマンスでステージを盛り上げます!



M's Studio(担当:松岡) tel.0120-543-365

3/23 [±] 舞台
 グランシップ企画事業
[本誌P12の詳細をチェック!](#)
人形浄瑠璃 文楽
 ■中ホール・大地
 ■昼の部13:30～/夜の部18:00～
 ■1階席3,600円 こども・学生1,000円
 昼夜通し券6,480円 2階席1,000円
 三大傑作のひとつ「義経千本桜」と、お染久松で知られる「新版歌祭文」を上演。字幕表示や出演者による開演前のあらすじ解説もあるので、はじめての方もお気軽に。
 昼の部:「義経千本桜」
 ～椎の木の間～すしやの段
 夜の部:「義経千本桜」
 ～道行初音旅、「新版歌祭文」～野崎村の段

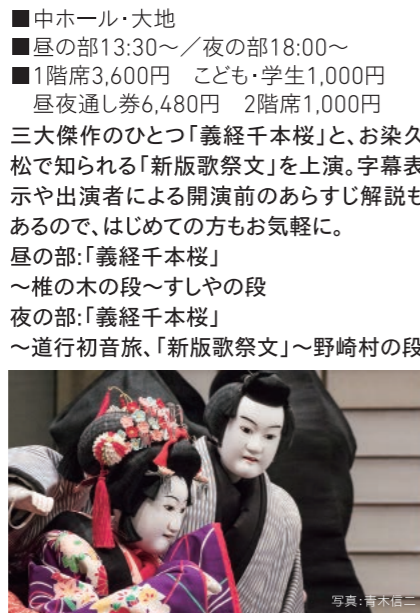


写真:青木信一
 グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/9 [±] 音楽 音楽
 グランシップ企画事業
グランシップ親子で楽しむ ロビーコンサート
 ■3階共通ロビー ■11:00～11:30
 ■入場無料・申込不要
 <葦の音がピアノに乗って>
 牧野早央里(オーボエ)、久米涼子(ピアノ)
 グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/9 [±] 就職
マイナビ看護学生 就職セミナー 静岡会場
 ■11階会議ホール・風 ■13:00～17:00
 ㈱マイナビ 静岡支社 tel.054-275-3200

3/10 [日] 音楽
 グランシップ企画事業
[本誌P4-7の詳細をチェック!](#)
グランシップ 春の音楽祭2019～躍動の絆～
 ■大ホール・海 ■15:00～
 ■S席2,500円 A席1,500円
 こども・学生1,000円

グランシップ20周年の幕開けを飾る、未来を拓く世代による躍動感あふれるステージ。J-POPからクラシックの名曲まで、オーケストラとバンドが生み出すサウンドと、コーラスとダンスが織り成す世界をお見逃しなく。
 <出演>
 静岡県立清水西高等学校 体操部・合唱部、
 日本大学三島高等学校・中学校 ダンス部・合唱部、
 静岡大学混声合唱団、KENKEN DANCE FACTORY
 オーケストラ:松沼俊彦(指揮)、静岡フィルハーモニー管弦楽団(管弦楽)
 バンド: Akira Nakamura&friends
 スペシャルゲスト: May J.



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/16 [±]・17 [日] その他
第3回 ふじのくに地球環境史ミュージアム・富士山世界遺産センター 合同国際シンポジウム
 ■11階会議ホール・風 ■9:30～17:30
 ふじのくに地球環境史ミュージアム
 tel.054-260-7111

2/15 [金] その他
全国街道交流会議 第12回全国大会 「しずおか大会」
 ■中ホール・大地 他 ■13:30～
 全国街道交流会議 第12回全国大会
 「しずおか大会」実行委員会現地事務所
 tel.054-221-1310(静岡市 観光・国際交流課)

2/17 [日] イベント
ふじのくに芸術祭 春の祭典
 ■中ホール・大地 ■13:30～15:30
 静岡県文化・観光部文化政策課
 tel.054-221-2254

2/17 [日] 音楽
グランシップ寄席 ～林家正蔵・桂米團治～
 ■6階交流ホール ■14:00～
 ■一般3,500円 こども・学生1,000円
 東西の文化が行き交う東海道の真ん中・静岡にて、江戸落語と上方落語の両方をご堪能!
 グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



林家正蔵

桂米團治

3/2 [±] 就職
福祉の就職&進学フェア in 静岡 2019
 ■大ホール・海 ■13:00～16:00
 (福)静岡県社会福祉協議会
 静岡県社会福祉人材センター
 tel.054-271-2110

3/3 [日] イベント
ダンスフェスティバル
 ■6階交流ホール ■10:00～16:00
 静岡市ダンススポーツ連盟
 tel.080-6909-3128

3/3 [日] 音楽
シンフォニエッタ静岡 第56回定期公演～プラスのひびき～
 ■中ホール・大地 ■14:00～16:00
 ■SS席7,000円 S席6,000円 A席5,000円
 B席3,000円 学生1000円
 (一社)シンフォニエッタ静岡 tel.054-204-7778

3/8 [金] その他
奉祝天皇陛下御在位三十年 第15回静岡支部神社関係者大会
 ■11階会議ホール・風 ■10:00～12:00
 静岡県神社庁 静岡支部 tel.054-261-0435

2/12 [火] 就職
インターンシップ&仕事研究セミナー
 ■大ホール・海 ■11:00～17:00
 (㈱)就職情報センター tel.054-281-5566

2/13 [水] 就職
シゴトフェア
 ■大ホール・海 ■13:00～20:00
 (㈱)アルバイトタイムス tel.054-653-3383

2/14 [木] 就職
障害者就職面接会
 ■大ホール・海 ■13:00～15:30
 ハローワーク静岡 tel.054-238-8603

2/19 [火] 講演会
平成30年度 静岡県高齢者権利擁護等推進「身体拘束廃止フォーラム」
 ■中ホール・大地 ■10:00～16:00
 (一社)静岡県介護福祉士会
 tel.054-253-0818

2/23 [±] その他
第58回静岡県病院学会
 ■11階会議ホール・風 ■13:00～16:30
 ■資料代2,000円
 (公社)静岡県病院協会
 tel.054-252-6326

2/28 [木] その他
3・1ピキニデー 日本原水協全国集会 全体集会および分科会
 ■中ホール・大地 ■13:00～15:00
 原水爆禁止日本協議会 tel.03-5842-6031

3/1 [金] 就職
県内短大生のための 合同企業説明会
 ■6階交流ホール ■9:50～12:15
 東海大学短期大学部 tel.054-261-6323

2/9 [±] その他
静岡県臨床工学技士会主催 第17回呼吸器セミナー
 ■11階会議ホール・風 ■9:30～16:30
 ■2,500円
 (一社)静岡県臨床工学技士会
 tel.0537-35-2135

2/10 [日] 音楽
 グランシップ企画事業
[本誌P14の詳細をチェック!](#)
H ZETTRIO LIVE "WITH US" in GRANSHIP
 ■大ホール・海 ■17:00～
 ■一般3,600円 こども・学生1,000円

卓越した演奏技術とエンターテインメント性溢れるパフォーマンスで、ジャズというジャンルを誰もが楽しめる音楽へと進化させ続けるピアノトリオがまたしても新たに伝説を描き出す!



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/10 [日] イベント
Dance Studio VIBE presents the special showcase "VIBES!!" vol.10
 ■中ホール・大地 ■①13:00～ ②17:00～
 ■3,000円
 Dance Studio VIBE tel.054-284-9052

2/11 [月・祝] イベント
 グランシップ企画事業
グランシップふじのくに 文化情報フォーラム2019 part6
 ■11階会議ホール・風 ■13:00～
 県内の文化芸術活動を支援するふじのくに文化情報センターが創る交流と対話の場。前回見つけた文化の種がどう芽吹くのか。文化活動に取り組む皆さんの、新たな交流とステップアップをささえます。



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

第14期グランシップモニター募集

グランシップでは、今後のグランシップ企画事業の
企画運営に役立てるため、モニター制度を設けています。

グランシップ企画事業を鑑賞後、アンケートに回答し、年4回の意見交換会に出席していただきます。

現在2019年4月から活動する第14期グランシップモニターを募集しています。



〈活動内容〉



グランシップ企画事業を鑑賞
公演鑑賞については無料招待
(同伴者は有料)

※交通費一部支給あり
※一部の事業については、グランシップ以外の
県内施設で実施します



ご意見・ご感想を
アンケートにて提出(随時)



年4回の意見交換会
への出席
(基本的に土日開催/参加必須)

※交通費実費支給

募集概要

応募資格/静岡県内在住、通勤通学の18歳以上の方(高校生を除く)
募集人数/10名以内
活動期間/2019年4月から2020年3月まで(1年間)
応募方法/指定の申込用紙(グランシップホームページ <http://www.granship.or.jp/> からダウンロード可)に、
郵便番号、住所、氏名、電話番号、性別、年齢、職業または学校名を記入するとともに、
グランシップ企画事業に対するご意見・ご感想を400字程度にまとめてご応募ください。
応募締切/2019年2月15日(金)必着

〈応募・お問い合わせ先〉
〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号 グランシップモニター係
TEL 054-203-5714 FAX 054-203-5716 E-mail info@granship.or.jp

〈応募結果通知〉3月中旬に応募者全員に郵送にてお知らせします。

グランシップを飛び出して、きみ住むまちへ!アウトリーチ活動

グランシップ 子どもアート体験! 学校プログラム

たくさんのお子たちに
本物の芸術をお届けする、
アウトリーチ活動を実施しています。



STAGE

玉川奈々福の浪曲教室

2018.9.27(木) 焼津市立焼津南小学校 6年生51名
2018.10.19(金) 御殿場市立富士岡小学校 6年生93名

グランシップが一流の演者ととも
県内の学校へ出向く「グランシップ子
どもアート体験!学校プログラム」。
今回は、浪曲師の玉川奈々福さん
講師に迎え、焼津市立焼津南小学
校と御殿場市立富士岡小学校で「浪曲
教室」を行いました。浪曲は、曲師の
三味線とともに、「節」と呼ばれる歌
と「啖阿」と呼ばれるセリフによつて
物語を聞かせる語り芸です。
子どもたちだけでなく先生方も浪
曲は、はじめての体験。まずは、日本の
伝統芸能について、どんなものを知
っているかという質問に、歌舞伎や百人
一首などいろいろな言葉が上がりに
ました。その中で、浪曲はどんな時代
でできて、現代では、どんな人たちがや
っているのか、また奈々福さんがどうし
て浪曲師になったのかを丁寧に説明
しました。そして、いよいよ「浪曲」を
実際に見てみることに。演目は、日
本の昔話だろうというみんなの予想を
大いに裏切り、誰もが知っている外国
のおとぎ話「シンデレラ」!奈々福さ
んの切れる良い声、ストーリーを生
生きと伝える節と啖阿に、はじめての
子どもたちもぐっと引き込まれます。
時折加わる物語のオリジナルアレンジ
が大笑いを巻き起こしていました。
また、曲師の沢村美舟さんの三味

初めて浪曲を知ったけれど、面白くて
また見たいと思った!(児童)



普段はできない経験ができて
本当に楽しかった。(児童)

線を近くで見たり、音を聞くことで、
三味線は、場所によって聞こえる音が
違うということも体験と共に学びま
した。最後は、実際に浪曲の声の出
方や独特の節の付け方、リズム感な
どを練習し、名乗りや掛け声にもみ
なで挑戦しました。
奈々福さんと美舟さんが、実は声に
出さない会話をして息を合わせてい
ることや、奈々福さんの頭の中には
400字詰め原稿用紙2000枚
におよぶ約70演目が記憶されている
ことにも子どもたちはとても驚いて
ました。
本物の文化芸術、実演家に触れる
ことで、新しい発見があったり興味
がわいたようです。これからも様々な
文化芸術をグランシップから県内の子
どもたちにお届けします。

奈々福さんと美舟さんの息がピッタリ
合っていて驚いた。(児童)



子どもたちが引き込まれる瞬間が目に見えて
わかりました。さすが本物!です。(先生)

撮影:グランシップ撮影サポーター
大池 利夫、平尾 正志



ふじのくに文化情報センター通信 vol.15

10月に開催した「ふじのくに文化情報フォーラム2018秋」と、
グランシップ館内の新しい展覧会「めぐりアート+」の後期展示作品をご紹介します。

さまざまな文化の種を持ち寄り共有

～ふじのくに文化情報フォーラム2018秋 文化の種を見える化する～

県内で文化活動に取り組む人たちが集まり、年2回開催しているふじのくに文化情報フォーラム。今回は、「文化の種を見える化する」をテーマに、静岡で文化活動に向き合う16人のゲストとテーブルを囲み、どこにどんな人がいて、どんなムーブメントが起こっているのか、「こんな面白いアイデアを持った人がいるよ」「こんなホットな活動が始まっているよ」といった“文化の種”を持ち寄り、情報交換をしました。

参加者は15のテーブルに分かれ、人や活動の情報を模造紙にマッピング。テーブルそれぞれで地域性や特徴が表れるマップが完成しました。その後、ほかの14のテーブルを2分間ずつ回り、マップの情報を共有する中では、「ピアニストとお茶がコラボレーションしたら優雅な演出ができそう」といったアイデアも。異なる領域、地域の人たちが交わることで、それぞれがこれまで知らなかった人や活動を知るとともに、新たな発想が生まれる場にもなりました。

また、冒頭では、前回のフォーラムから3つのプロジェクトにスポットをあてて行った“アイデアを実践につなげるため”のワークショップを経て、各プロジェクトが現在どのように進んでいるかの中間報告も。明確になった課題と計画をもとにして、着実に前へ進んでいる活動に、今後も期待大です。次回のフォーラムは、2月11日(月・祝)に開催。これからもふじのくに文化情報センターでは、文化活動に取り組む皆さんの、新たな交流とステップアップをささえていきます。



グランシップ館内でいつでもアート鑑賞を！ めぐるりアート+

静岡市内のさまざまな場所を会場に開催されている展覧会「めぐりアート静岡」。「めぐりアート+ (プラス)」は、これまで「めぐりアート静岡」に関わったアーティストへの新たな発表の場の提供にプラスし、グランシップに来館する幅広い層の方々にアート作品に触れていただくことを目的とした、新しい展覧会です。館内の様々なスペースに、年2組のアーティストの作品を展示していきます。

2018年度後期展示 <10月19日～2019年4月15日> ウィルフリド・ゴンザレス Wilfrido S.A. Gonzales

1959年フィリピン、マニラ市生まれ。美術家。1990年フィリピン大学美術学部彫刻科卒業。

1991-93年に文部省留学生として名古屋芸術大学にて彫刻を学ぶ。名古屋在住、フィリピンと日本で個展などを多数開催。静岡との縁も深く、静岡市内のギャラリーsensenciでの個展(2000、2018年)の開催や「静岡アートドキュメント」への参加(2011、2014年)、「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」での展示とワークショップ(2000～2014年)、第1回「めぐりアート静岡」への参加(2014年)などが挙げられよう。

ゴンザレス作品の特徴は、一筆書きのような人間像によって人の苦悩や喜びを表すことに加えて、素材としてラタン(籐)を用いることである。彼にとって制作とはラタン/自然との対話に他ならない。私達が、孤独や不安を抱えて生きる時、ゴンザレスの創り出した人間像は、それに優しく寄り添い、伸びやかな精神の波動を周囲に送り出す。

【展示作品】

- ショーウィンドウ/喜びづくり/心の平和づくり Building joy/Building A Heart Filled With Peace
 - 1Fエントランス/波:助け合い Waves:Helping One Another
 - 2Fエスカレーター踊り場/演技 Performance
 - 3Fエスカレーター付近/指揮者たち Conductors
- ほか8作品



めぐりりアート+ キュレーター 白井嘉尚



開館20周年記念

グランシップ友の会 ご入会キャンペーン

会費無料



1999年3月オープンから間もなく20年を迎えるグランシップ。
開館20周年を記念して、新規ご入会の方または新規会員ご紹介の方に
抽選で**600名様**をグランシップ公演にご招待!

キャンペーン
応募締切

2019年2月25日(月)まで ※キャンペーン応募ハガキ必着

毎月25日に抽選! 当選者にはご招待状をお送りします!

詳細・申し込み方法はホームページをご覧ください。

対象公演

E	2/10(日)	音楽	ジャズ・ライブ H ZETTRIO
F	3/10(日)	音楽	グランシップ春の音楽祭2019
G	3/23(土)	伝統芸能	人形浄瑠璃文楽(昼の部)
H	3/23(土)	伝統芸能	人形浄瑠璃文楽(夜の部)
I	3/24(日)	音楽	NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト

※1応募につき1名様ご招待。座席は指定させていただきます。※抽選月によって対象となる公演が限られますのでご注意ください。

<注意事項>

- ・新規入会2018年10月1日(月)以降の方が対象です。招待キャンペーン応募は2月25日(月)必着分まで受付です。
- ・重複応募や記載事項に不備がある場合は応募無効となります。
- ・当選発表は「招待状」の発送をもってかえさせていただきます。「招待状」は各抽選日のおよそ2週間後に郵送します。
- ・本キャンペーンは会員の方と同一世帯の方のご紹介・新規入会は対象外とします。

<お問い合わせ> グランシップチケットセンター TEL 054-289-9000

(営業時間 10:00～18:30 休館日を除く)

<http://www.granship.or.jp>

グランシップ友の会

グランシップ友の会 法人会員

- <特別法人会員>
静岡ガス株式会社 鈴与株式会社 株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社
- <一般法人会員>
[Media]
株式会社テレビ静岡 静岡エフエム放送株式会社 株式会社創碧社
- [Manufacture]
株式会社タミヤ ダイードドリンク株式会社 丸茂電機株式会社 SUS株式会社
- [Service]
株式会社ステージ・ループ 静岡県ビルメンテナンス協同組合 静岡信用金庫 株式会社ピーエーシー
株式会社イノウエテクニカ 株式会社日本平ホテル 株式会社コアズ 株式会社望月商事 学校法人常葉大学
株式会社東京企画装飾静岡 株式会社ニッセイコム 国立大学法人静岡大学 有限会社近藤リース

地域の活性化に取り組む文化施設

さあ、行こう！あなたの街で文化の幕開け！

アートもカルチャーも、決して遠いところにはありません。身近な施設にも文化芸術に触れるチャンスがありますよ。

磐田市民文化会館

磐田市

【住所】〒438-0073 磐田市二之宮東3-2
 【TEL】0538-35-6861 【FAX】0538-35-4310
 【URL】http://www.iwatabunka.info/
 指定管理者：磐田市直営



収容定員1,500人のホールに合わせたりハーサル室、4つの楽屋を有し、文化の香りあふれる、潤いのある暮らしを発信しています。

コメディクラウンサーカス SPECIAL 3/17(日)10:00～(体験講座12:00～)クラウン(ピエロ)13名による90分の豪華なステージ。希望者を対象としたバルーンアート・ジャグリング等の体験講座も開催。

浜松市雄踏文化センター

掛川市

【住所】〒431-0102 浜松市西区雄踏町宇布見5427
 【TEL】053-596-1100 【FAX】053-596-1771
 【URL】http://yutobunka.birukan.jp/
 指定管理者：東海ビル保全株式会社



雄踏文化センターは、コンサートや演劇が楽しめる大ホールをはじめ、イベントホール、会議室、楽器・ダンスの練習室や各種実習室を備え、市民の生涯学習、交流の場として大きな役割を果たしています。

雄踏文化センターまつり 2/24(日)10:00～16:30
 雄踏文化センター利用者様および地域の皆様と一緒に楽しむ、芸能発表・展示発表・カルチャー体験会。屋内外出店・抽選会もあります。

大井川文化会館ミュージコ

焼津市

【住所】〒421-0205 焼津市宗高888
 【TEL】054-622-8811 【FAX】054-622-8822
 【URL】http://www.musicco.or.jp/
 指定管理者：公益財団法人焼津市振興公社



音響を重視した1,050席のホールの他、野外ステージ、親水施設などを有する施設で、「ピアノマラソン」「吹奏楽フェスティバル」「ミュージコフェスト」「ロビーコンサート」等市民参加型の事業を開催し、愛称ミュージコ(ミュージック+コミュニケーション)にふさわしい運営を行っています。

【津軽三味線】吉田兄弟×【ピアノ連弾】レ・フレール スペシャルコラボコンサート 1/27(日)16:00～ 2組の兄弟ならではの息の合った演奏で全く違うジャンルの津軽三味線とピアノを見事に融合させる特別なコンサート。

焼津文化会館

焼津市

【住所】〒425-8585 焼津市三ヶ名1550
 【TEL】054-627-3111 【FAX】054-628-5176
 【URL】http://www.yaizu-kosya.jp/yaizubunka/
 指定管理者：公益財団法人焼津市振興公社



1,300席の大ホールの他、他目的利用可能な小ホール・会議室などを有し、コンサートやセレモニーなどにご利用いただけるとともに、当館主催事業では幅広いジャンルのステージが楽しめます。

御殿場市民会館

御殿場市

【住所】〒412-0042 御殿場市萩原183-1
 【TEL】0550-83-8000 【FAX】0550-83-8003
 【URL】http://gotemba-shiminkaikan.jp/
 指定管理者：御殿場総合サービス株式会社



首都圏に近く、富士箱根伊豆交流圏の中心に位置し、1,000人以上収容可能な大ホールをはじめ、多目的に利用できる小ホール、各種会議、文化活動など目的に応じて利用可能な会議室・研修室等を設置しています。

三島市民文化会館 ゆうゆうホール

三島市

【住所】〒411-0036 三島市一番町20-5
 【TEL】055-976-4455 【FAX】055-976-4458
 【URL】http://www.mishima-youyouhall.com/
 指定管理者：株式会社SBSプロモーション、株式会社エスピーエスたくみ、株式会社NTTファシリティーズ東海支店



三島市民文化会館(ゆうゆうホール)には、定員が1,202名の大ホール、355名の小ホールをはじめとして、会議室、和室、リハーサル室及び練習室などの各種施設があります。JR三島駅から徒歩3分とアクセスも便利です。

～三島市×佐野美術館「REBORN 蘇る名刀」展コラボレーション企画～
 声優朗読劇 三島物語 1/19(土)14:30～
 三島の歴史をオリジナル脚本で書き下ろした、代永翼、濱健人、鈴木裕斗ら人気声優による朗読劇。美しい音楽演奏と共に楽しみください。

こどもに、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化

文化芸術は人をつくり、まちをつくり、未来をつくります。
 県内各地で優れた文化活動を行っている団体をご紹介します。

街カル実行委員会

静岡市

●文化支援(文化をささえる活動) ●代表/大庭千晶 静岡市葵区昭和町1-2 スカイトウンビル9-F

街や人をカルチャーでつなぐプロデュースチーム

“街deカルチャー”を合言葉に、レストランでフランス文化講座、雑貨店でクラフト講座など、新感覚のカルチャーイベントとして人気を得ている「街カル」。学ぶだけでなく、講座とコラボしたお店のサービスも魅力的ようです。その運営や情報を発信しているのが「街カル実行委員会」。カルチャー講座を通じて街や人を元気にしたいの思いから活動しています。講師には活動の場を提供し、お店には集客をもたらすなど、マッチングすることで新しい価値を生み出しています。2017年からはアートものづくりのワークショップイベント「街カル in CCC」を企画・運営。文化に親しむすそのがじわじわ広がっています。



2018年の「街カル」は、講師34人とお店29店がコラボ。22日間、街のあちこちでたくさんのお会いや笑顔が生まれました。※写真は街カル in CCC

演劇ユニットFOX WORKS

浜松市

●演劇・文化支援(文化をささえる活動) ●代表/狐野利典 浜松市南区本郷町479

演劇から広がりはじめた文化芸術の輪

劇作家で演出家、パフォーマーの狐野トシノリさんを中心に、2011年に旗揚げした社会人劇団です。「死のうと思った人間が、やっぱり生きようと思う作品」をコンセプトに、コメディを主体に幅広く創作。啓蒙的な演劇や各地の劇団員が集結した「お祭り芝居」など、自主企画やプロデュース企画を多彩に手掛けています。定期公演はもちろん、芸術祭にも参加し、「決戦!中田島」は浜松演劇フェスティバル2017で奨励賞を受賞しました。活動は演劇に留まらず、文化芸術の創作へ広がり、国内外の文化創造団体とも交流を深めています。2017年には、浜松市内に劇場兼多目的スペース「Sketchbook Theater」を開設。文化芸術を愛する人たちの、新たなスポットとして注目を集めています。



第9回公演「FARCE!一狸穴山荘事件」では、通常のホールなどでは出来ない小屋の近さと小ささを活用した演出により好評を得ました。



<p>1/25[金] 19:00~ 今井信子(ヴィオラ)&伊藤恵(ピアノ) デュオ・リサイタル 静岡音楽館AOI 一般4,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	<p>開催中~3/24[日] 9:00~16:30 芹沢銈介の収集—世界の仮面と衣装— 静岡市立芹沢銈介美術館 一般420円、大高生250円、小中生100円 【問】静岡市立芹沢銈介美術館 tel.054-282-5522</p>	<p>3/9[土] 10:00~14:30 郷土教室「江戸時代の三島宿」 三島市郷土資料館 入館無料(但し楽寿園入園料として15歳以上300円。 学生は学生証提示にて無料) 【問】三島市郷土資料館 tel.055-971-8228</p>
<p>1/27[日] 9:30~ なつかしの映画劇場 焼津文化会館 500円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>	<p>開催中~3/24[日] 10:00~17:30 企画展「くらやみの覇者」 ふじのくに地球環境史ミュージアム 一般600円、小中高大生・70歳以上300円 【問】ふじのくに地球環境史ミュージアム tel.054-260-7111</p>	<p>3/9[土] 14:00~ アキラさんとまこと君 ふたりのオーケストラ 富士宮市民文化会館 一般3,000円、高校生以下2,000円 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237</p>
<p>1/27[日] 16:00~ 【津軽三味線】吉田兄弟×[ピアノ連弾]レ・フレール スペシャルコラボコンサート 大井川文化会館ミュージコ 5,000円 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811</p>	<p>冬の夜空をひとり占め 川根本町の三ツ星天文台は、「澄んだ星空」全国第2位に選ばれたこともある隠れた名所。オリオン座、シリウス…、きらめく星たちに手が届きそう。この冬、天文デビューしてみませんか？</p>	<p>3/16[土] 16:00~ 富士山世界遺産登録5周年記念 東儀秀樹世界遺産コンサート 富士宮市民文化会館 2,000円 【問】富士宮市富士山世界遺産課 tel.0544-22-1489</p>
<p>2/1[金]~3/30[土] 9:00~17:00 文学館特別展「こぐまちゃんと11びきのねこ」 ~こぐま社ロングセラー絵本展~ 藤枝市郷土博物館・文学館 400円、中学生以下無料 【問】藤枝市郷土博物館・文学館 tel.054-645-1100</p>	<p>12/22[土]~2/17[日] 9:30~17:00 見たい!知りたい!つめた〜い世界 雪と氷のミュージアム 静岡科学館る・くる 参加無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p>	
	<p>1/5[土]~3/24[日] 10:00~19:00 起点としての80年代 静岡市美術館 一般1,100円、大高生・70歳以上700円、中学生以下無料 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515</p>	<p>3/24[日] 14:00~ 富士山ユースオーケストラ 第10回記念定期演奏会 富士宮市民文化会館 無料 【問】富士宮市文化課 tel.0544-22-1187</p>
<p>2/2[土] 15:00~ 子どものためのコンサート 東京混声合唱団 東混プリステン 声楽八重唱 静岡音楽館AOI 一般2,500円、22歳以下1,000円、親子券3,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	<p>1/5[土] 14:00~ 千住・長谷川・仲道 女神たちの愛のうた 焼津文化会館 4,500円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>	<p>中部 for Central</p>
<p>2/5[火]~3/31[日] 9:00~17:00 江戸のそら 静岡市東海道広重美術館 一般510円、大高生300円、小中学生120円 【問】静岡市東海道広重美術館 tel.054-375-4454</p>	<p>1/14[月・祝] 14:00~ 初春バレエ 祝賀コンサート 静岡市清水文化会館マリナート 4,500円 【問】静岡新聞社事業部 tel.054-281-9010</p>	<p>開催中~1/20[日] 9:30~16:30 特別展「墨外一截金で描く仏画」 フェルケール博物館 大人400円、中高生300円、小学生200円 【問】フェルケール博物館 tel.054-352-8060</p>
<p>2/16[土] 14:00~ 静岡交響楽団 第85回定期演奏会 静岡市清水文化会館マリナート A席4,500円、B席3,500円、B席・学生1,500円 【問】静岡交響楽団 tel.054-203-6578</p>	<p>1/14[月・祝] 15:00~ 第13期ピアニストのための アンサンブル講座修了記念コンサート 静岡音楽館AOI 1,000円(静岡音楽館倶楽部会員、22歳以下無料) 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	<p>開催中~2/3[日] 9:00~17:00 城たび!—お城で旅する東海道— 静岡市東海道広重美術館 一般510円、大高生300円、小中生120円 【問】静岡市東海道広重美術館 tel.054-375-4454</p>
<p>あのフレーズがよみがえる 多くの人に親しまれてきた、野口雨情作詞、本居長世作曲の童謡「赤い靴」。そのモデルの女の子と母親は、旧清水市出身でした。故郷を見下ろす日本平山頂には、仲睦まじい母子像がたっています。</p>	<p>1/19[土] 18:00~ ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール覇者 ソヌ・エイゴン ピアノ・リサイタル 静岡音楽館AOI 一般4,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	

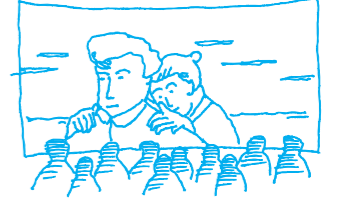
<p>2/23[土] 10:00~14:30 郷土教室「遊んで学ぼう富士山デー」 三島市郷土資料館 入館無料(但し楽寿園入園料として15歳以上300円。 学生は学生証提示にて無料) 【問】三島市郷土資料館 tel.055-971-8228</p>	<p>1/19[土] 14:30~ 三島市×佐野美術館 「REBORN 蘇る名刀」展コラボレーション企画 声優朗読劇 三島物語 三島市民文化会館 4,000円 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455</p>
<p>2/23[土] 18:30~ 戸村愛美サクソフォンリサイタルvol.2 沼津市民文化センター 沼津市民文化センター 一般2,000円、学生1,500円 【問】戸村愛美サクソフォンリサイタル実行委員会 manamin106106@gmail.com</p>	<p>伊東の春を告げる風物詩 伊東市のシンボル大室山。山頂へ上がれば、相模湾や伊豆七島、天城連山などの絶景に出合えます。毎年2月には山焼きが行われ、春を告げる風物詩として親しまれています。</p>
<p>2/24[日] 12:30~ 第6回沼津ジャズフェスティバル 沼津市民文化センター 沼津市民文化センター 一般1,500円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>	<p>1/20[日] 14:00~ 第2回ぬまづニューイヤー・ガラコンサート 沼津市民文化センター 沼津市民文化センター 一般1,500円、高校生以下500円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>
<p>2/24[日] 17:30~ ロゼフォークプラザVol.15 加藤登紀子と素敵な仲間 富士市文化会館 ロゼシアター 6,500円 【問】富士市文化会館 ロゼシアター tel.0545-60-2510</p>	<p>1/20[日] 14:00~ 初春バレエ 祝賀コンサート 御殿場市民会館 御殿場市民会館 一般3,500円、高校生以下2,500円 【問】御殿場市民会館 tel.0550-83-8000</p>
<p>3/2[土]~4/7[日] 10:00~17:00 名工・永徳齋の人形 佐野美術館 一般・大学生1,000円、小中高生500円 【問】佐野美術館 tel.055-975-7278</p>	<p>2/3[日] 13:00~16:30~ 沼津寄席 三遊亭円楽 落語会 沼津市民文化センター 3,500円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>
<p>3/3[日] 14:00~ 伊豆の国寄席 三遊亭小遊三・春風亭昇太 二人会 長岡総合会館アクシスカつらぎ S席3,500円、A席3,000円 ※未就学児の入場不可 【問】伊豆の国市市役所文化振興課 tel.055-949-8600</p>	<p>2/9[土] 14:00~ 八代目春風亭柳橋の会 一門会 富士宮市民文化会館 2,000円 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237</p>
<p>3/3[日] 14:00~ 富士宮プレミアムコンサート合唱団 第9回新春コンサート 富士宮市民文化会館 指定席3,000円、自由席2,000円、学生1,000円 【問】リアルネット tel.0544-21-9818</p>	<p>2/9[土] 16:30~ 渡辺香津美 meets 沖仁 長泉町文化センター 4,000円 【問】長泉町文化センター tel.055-989-0001</p>
	
<p>だるまさんに願いを込めて 日本三大だるま市の一つ、富士市妙法寺の「毘沙門天大祭」。様々なだるまの中で一際目立つのが、立派なおひげの「錦川だるま」。「戦の神」毘沙門天にあやかっているそうです。</p>	<p>2/11[月・祝] 17:30~ 山崎育三郎 LIVE TOUR 2019 ~I LAND~ 三島市民文化会館 7,800円 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455</p>

新たな出会い 感動で胸一杯な 静岡の冬

1月~3月のイベント情報

東部 for Eastern

開催中~**3/19[火] 10:00~16:30**
井上靖と映画 銀幕を彩った作品たち
井上靖文学館
大人500円、大高生400円、中学生以下無料
【問】井上靖文学館 tel.055-986-1771



開催中~**4/21[日] 9:00~16:30**
澤田政廣記念美術館「館藏品展」
熱海市立澤田政廣記念美術館
大人320円、中高生210円、小学生無料
【問】熱海市立澤田政廣記念美術館 tel.0557-81-9211

1/7[月]~2/24[日] 10:00~17:00
REBORN 蘇る名刀
佐野美術館
一般・大学生1,000円、小中高生500円
【問】佐野美術館 tel.055-975-7278

亥年の“食べる縁起物”
猪をかたどった伊豆市の銘菓「猪最中」。サクサクの皮の中にはあんこがぎっしり。今にも走り出しそうな外見は、まさに猪突猛進。おいしく食べて健康かな一年を。

1/16[水] 18:30~
ピーノ・フォラスティエーレ
スペシャル・アコースティック ライブ
三島市民文化会館
2,500円
【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455



<p>2/23[土] 14:00~ 第35回浜北寄席 立川談春 独演会 浜松市浜北文化センター 4,000円 【問】 浜松市浜北文化センター tel.053-586-5151</p>	<p>1/31[木] 18:30~ 狂言の夕べ 野村万作・野村萬斎 磐田市民文化会館 S席 4,500円、A席 3,500円、大学生以下1,000円 【問】 磐田文化振興会 tel.0538-35-7133</p>	<p>1/17[木] 18:30~ プラハ国立劇場オペラ「フィガロの結婚」 アクトシティ浜松 SS席14,000円、S席12,000円、A席10,000円、 B席8,000円、C席6,000円、学生1,500円(当日指定・24歳以下) 【問】 (公財)浜松市文化振興財団 tel.053-451-1114</p>
<p>3/2[土] 10:30~14:00~ ゆるやかコンサート 10周年記念コンサート 浜松市浜北文化センター 小学生以上500円 【問】 浜松市浜北文化センター tel.053-586-5151</p>	<p>2/3[日] 13:00~ 第10回浜松市民バンドフェスティバル 浜松市浜北文化センター 前売500円、当日700円 【問】 浜松市浜北文化センター tel.053-586-5151</p>	<p>1/17[木] 19:00~ 歌舞伎入門初春公演 菊川文化会館アエル 大人2,200円、高校生以下1,200円 【問】 菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515</p>
<p>自然が織り成す不思議な音色 天候の変わり目に鳴りだし、すっと鳴りやむ海鳴り「波小僧」。遠州七不思議の一つに数えられ、「日本の音風景100選」にも選ばれています。浜岡砂丘の入口でキュートな「波小僧」像が出迎えてくれます。</p>	<p>2/3[日] 14:00~ 第九コンサート 袋井市月見の里学遊館 一般1,000円、高校生以下500円 【問】 袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p>	<p>1/19[土]~3/3[日] 9:30~17:00 所蔵品展 秋野不矩 美の殿堂Ⅳ 浜松市秋野不矩美術館 大人300円、高校生150円、 中学生以下・70歳以上・障害者手帳等所持者無料 【問】 浜松市秋野不矩美術館 tel.053-922-0315</p>
<p>3/3[日] 9:30~ 御前崎なつかしの映画祭 御前崎市民会館 1日通し券500円 【問】 (公財)御前崎市振興公社 tel.0537-63-0195</p> 	<p>2/9[土]~3/24[日] 9:00~17:00 鈴木コレクション(所蔵品) 日本画を愛でる—美人画・花鳥画・風景画— 掛川市二の丸美術館 高校生以上200円、中学生以下無料 【問】 掛川市二の丸美術館 tel.0537-62-2061</p>	<p>1/19[土]~3/3[日] 9:30~17:00 2019 おひなさま展 磐田市新造形創造館 入館無料 【問】 磐田市新造形創造館 つくるっぺい tel.0538-33-2380</p> 
<p>3/5[火]~3/31[日] 9:30~17:00 所蔵品展 秋野不矩 美の殿堂Ⅴ 浜松市秋野不矩美術館 大人300円、高校生150円、 中学生以下・70歳以上・障害者手帳等所持者無料 【問】 浜松市秋野不矩美術館 tel.053-922-0315</p>	<p>2/9[土] 16:00~ なごみ〜ず アコースティックナイト in 森町 森町文化会館 5,800円 【問】 森町文化会館 tel.0538-85-1111</p>	<p>掛川の奥座敷に湧き出る温泉 1440年に開湯した、歴史ある法泉寺温泉。法泉寺の和尚が、夢のお告げの通りに地面に杖を指すと、温泉が湧き出たといわれています。伝説の温泉で日頃の疲れを癒してみたいは？</p>
<p>3/16[土] 10:30~11:30 浜名湖の砂で砂時計を作ろう! 浜名湖体験学習施設 ウォット 大人310円、高校生以下・70歳以上無料 ※参加費100円 【問】 浜名湖体験学習施設 ウォット tel.053-592-2880</p>	<p>2/17[日] 14:00~ 特別収蔵展「鷹野つぎと浜松」 浜松文芸館 無料 【問】 浜松文芸館 tel.053-453-3933</p>	<p>1/20[日] 14:00~ MUSIC & MAGIC 袋井市月見の里学遊館 一般2,000円、高校生以下1,000円 【問】 袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p> 
<p>3/17[日] 14:00~ 親子コンサート 歌と語りとハーブとフルート 袋井市月見の里学遊館 親子ペア券1,200円、大人1,000円、子ども500円 【問】 袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p>	<p>決め手は“遠州のからっ風” サツマイモを蒸して皮をむき、天日干しにした遠州名物「芋切干」。“遠州のからっ風”と太陽の恵みによって甘みがぐんと引き出され、今や名産品に。美容と健康に嬉しい自然派おやつです。</p>	<p>1/29[火]~3/3[日] 9:00~17:00 浜松の染色の型紙 —機械染色の型紙を中心として— 浜松市博物館 一般500円、高校生200円、中学生以下無料 【問】 浜松市博物館 tel.053-456-2208</p>

<p>西部 for Western</p>	<p>3/9[土] 13:00/18:00~ 3/10[日] 12:00~ 舞台「プラトノフ」 静岡市民文化会館 S席10,800円、A席9,800円 【問】 静岡朝日テレビ事業部 tel.054-251-3302</p>	<p>2/16[土] 18:00~ われらがイエスの肢体 〜若きバッハが400キロ歩き追い求めた ブクステフデ最大の受難曲〜 静岡音楽館AOI 一般2,500円、22歳以下1,000円 【問】 静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>
<p>開催中~1/14[月・祝] 9:00~17:00 浜松市博物館ができたころ—1979— 浜松市博物館特別展示室 大人300円、高校生150円、中学生以下無料 【問】 浜松市博物館 tel.053-456-2208</p>	<p>3/10[日] 15:00~ 中村蓉 プラス映像ダンス公演 川根本町文化会館 大人1,000円、小中高生500円 【問】 川根本町文化会館 tel.0547-59-3106</p> 	<p>2/22[金] 18:30~ マリナートプレミアムフライデーコンサート 静岡市清水文化会館マリナート 無料 ※要整理券 【問】 静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>
<p>開催中~1/14[月・祝] 9:30~17:30 昭和の少女マンガ展〜可憐な乙女たち〜 磐田市香りの博物館 一般300円、学生200円、小中生100円 【問】 磐田市香りの博物館 tel. 0538-36-8891</p>	<p>3/17[日] 10:00~15:30 おもしろ科学フェスティバル 静岡科学館る・くる 参加無料(入館料別途) 【問】 静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p>	<p>2/24[日] 14:00~ 鈴木大介 映画名曲コンサート 焼津文化会館 2,000円 【問】 焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>
<p>開催中~2/3[日] 9:00~17:00 白井嘉尚 —シャーベットのよう、そして森のなかへ— 同時開催アートカードで遊ぼう! 掛川市二の丸美術館 高校生以上200円、中学生以下無料 【問】 掛川市二の丸美術館 tel.0537-62-2061</p>	<p>3/17[日] 14:00~ 静岡交響楽団 オーケストラの日「名曲コンサート」 静岡市清水文化会館マリナート A席4,500円、B席3,500円、B席・学生1,500円 【問】 静岡交響楽団 tel.054-203-6578</p>	<p>3/2[土] 静岡バッハ合唱団・創立10周年記念事業 J.S.バッハ「カンタータ150番・158番・182番」と 團伊玖磨「筑後川」演奏会 静岡市清水文化会館マリナート 2,500円 【問】 静岡バッハ合唱団事務局 tel.054-262-6517</p>
<p>開催中~2/10[日] 9:00~17:00 企画展「三方原物語」 三方原の成り立ちと歩み 浜松文芸館 無料 【問】 浜松文芸館 tel.053-453-3933</p>	<p>野鳥の楽園でバードウォッチング 毎冬80種類以上の渡り鳥が飛来するといわれる大井川河口エリア。すぐそばには鳥たちが安心して休息できる聖域“サンクチュアリ”が広がり、バードウォッチングを楽しめます。</p>	<p>3/8[金]~3/16[土] ふじえだ短編演劇祭 白子ノ劇場 1,000円 【問】 (一社)ユニークポイント tel.054-625-8885</p>
<p>1/14[月・祝] 10:00~12:00 マグネット釣り大会 浜名湖体験学習施設 ウォット 大人310円、高校生以下・70歳以上無料 【問】 浜名湖体験学習施設 ウォット tel.053-592-2880</p> 	<p>3/21[木・祝] 15:00~ 静岡市清水文化会館マリナート “響きのある街”プロジェクト 第4回吹奏楽団マリナート・ウインズ×須川展也 静岡市清水文化会館マリナート 一般2,500円、大学生以下1,500円、小学生無料 【問】 静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>	<p>3/9[土] 11:00~14:30~ それいけ!アンパンマン ミュージカル 焼津文化会館 2,800円 【問】 焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>
<p>1/16[水]~3/31[日] 10:00~17:00 椿つれづれ 資生堂アートハウス 入場無料 【問】 資生堂アートハウス tel.0537-23-6122</p> 	<p>3/24[日] 文化会館 de ART festival 川根本町文化会館 入場無料(一部演目有料) 【問】 川根本町文化会館 tel.0547-59-3106</p> 	<p>3/9[土] 13:00~15:30 3/10[日] 10:00~15:30 サイエンスピクニック2019 静岡科学館る・くる 参加無料(入館料別途) 【問】 静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p> 
<p>3/29[金] 18:30~ マリナートプレミアムフライデーコンサート 静岡市清水文化会館マリナート 無料 ※要整理券 【問】 静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>	<p>3/29[金] 18:30~ マリナートプレミアムフライデーコンサート 静岡市清水文化会館マリナート 無料 ※要整理券 【問】 静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>	<p>3/9[土] 13:00~15:30 3/10[日] 10:00~15:30 サイエンスピクニック2019 静岡科学館る・くる 参加無料(入館料別途) 【問】 静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p>

イベント情報はふじのくに文化情報センターへ

- ◆グランシップ1階のセンターにて各種チラシ・ポスターを配架・掲示中!
- ◆「ふじのくに文化情報」サイトからイベントの登録・閲覧ができます。本誌への掲載も! www.shiz-bunka.com

新春を彩るのは、今秋フランスで絶賛された宮城×SPACの最新作と、妖怪たちが織りなす奇妙で愉快な音楽劇！



撮影:Simon GOSSELIN

#3 チケット販売中

あらわ
顕れ ～女神イニエの涙～

カメルーン出身・フランス在住の女性作家レオノーラ・ミアノの衝撃作。アフリカ社会の分断を生んだ奴隷貿易の実態に神話的な世界観で深く切り込む戯曲を、宮城聡が鎮魂の祝祭音楽劇に紡ぎなおし、俳優たちの声と身体そして生演奏が、人間の尊厳を謳いあげる。今秋フランスで世界初演し、絶賛された本作が、早くも静岡に凱旋！

1/14[月・祝]・19[土]・20[日]・26[土]・27[日]
2/2[土]・3[日]

各日 14:00開演
静岡芸術劇場

作:レオノーラ・ミアノ 翻訳:平野暁人 上演台本・演出:宮城聡 音楽:棚川寛子
出演:SPAC



ジャン・ランベール＝ヴィルド 撮影:Thierry LAPORTE

#4 チケット販売中

妖怪と私(仮題)

コミカルかつ詩的な舞台上観客を魅了する演出家ジャン・ランベール＝ヴィルドが、SPACと共に創作する日仏共同制作作品。死後、おかしな妖怪たちの世界へ迷い込んだ一人の男。人生を振り返り、試練を越えた先に待つものとは——?「生きること」の喜びにあふれ、大人も子どもも楽しめる愉快な音楽劇。

2/16[土]・17[日]・24[日]
3/2[土]・3[日]・9[土]・10[日]

各日 14:00開演
[2/24(日)のみ15:00開演]

静岡芸術劇場

作・演出:ジャン・ランベール＝ヴィルド
出演:SPAC

ファミリー
ペア割引
(4,000円)あり

くわしくは公式サイト
またはチケットセンター
まで

SPAC 人材育成事業 第20回「すばっくこども大会」出演者募集

オンリーワンなパフォーマンスあつまれ!子どもたちの魅力的な個性を、静岡芸術劇場の大舞台上で発揮してみませんか?

発表日 3/17(日)

会場 静岡芸術劇場(入場無料/要予約)

応募受付開始 1/7(月) 応募締切 2/4(月)必着

応募対象 静岡県在住の小学生、1組3名以内

お問い合わせ SPAC・静岡県舞台芸術センター TEL:054-203-5730

「秋→春のシーズン」チケット			
チケット	一般	1公演 4,100円	チケット購入方法
	ゆうゆう割引 学生割引	1公演 3,400円(満60歳以上対象) 1公演 2,000円 1公演 1,000円 ※その他各種割引あり	
		電話予約 / SPACチケットセンター(受付時間10:00~18:00) TEL:054-202-3399	
		ウェブ予約 / http://www.spac.or.jp/ticket	

「秋→春のシーズン」および「こども大会」の詳細はSPAC公式サイトをご覧ください。 www.spac.or.jp

Twitter 公式アカウント

@_SPAC_

Instagram 公式アカウント

spacshizuoka

Facebook公式ページ

http://www.facebook.com/SPACshizuoka



レオノーラ・ミアノ
Léonora MIANO

1973年カメルーン生まれ、91年よりフランス在住。2013年、奴隷貿易の淵源を描いた『影の季節』でフェミナ賞を受賞。本作は15年に発表された『青の中の赤3部作』の一篇。奴隷貿易や植民地支配を主題に現代アフリカの問題をとらえようとしている。



2018年7月、舞台芸術公園でのクエーションで作品について語るミアノ氏

フランスで今最も注目される作家のひとり、レオノーラ・ミアノ。彼女の衝撃作『顕れ』を、SPACがパリで世界初演し、一月に静岡で上演します。作品に込められた作家の切なる思いとは――。

「Révelation」は、アフリカ社会の分断を生んだ「奴隷貿易」を主題に、これまで光が当てられることのなかった「アフリカ人の加担者たち」による告白が描かれている。これを世界初演するにあたり、作家自身が演出に指名したのはSPAC芸術監督・宮城聡だった。

2018年秋、SPACはパリのコリーヌ国立劇場で1ヶ月のロングラン公演を行い、大きな反響を巻き起こした。クリエイションに立ち会った作家本人に作品について聞いた。

――演出に宮城聡を指名した理由を教えてください。

パリで宮城さんが演出した『イナバとナバホの白兔』と『マハーバーラタ』を観ました。彼ならば、アフリカ大陸で起こった出来事に対して深い理解を示して、人類共通の問題として表現できるのではと感じたのです。今回静岡での稽古に立ち会い、彼に引き受けてもらえて本当に良かったです。

――「奴隷貿易」を主題にしたのはなぜでしょうか。

まず私は、「奴隷貿易」や「黒人」といった言葉は使わず、「大西洋横断人間貿易」と表現しています。「奴隷」という言葉では個人の存在が見えなくなり、「黒人」には西洋からの視線が内包されていると感じるからです。

私には、アフリカ大陸から連れ去られ大西洋で海の藻屑となった人たちの魂を鎮めたいという気持ちが強くなります。アフリカは先祖信仰が重んじられる文化であるのに、そうして亡くなった人たちはきちんと扱われていません。ましてやアフリカ国内にも加担者がいたという事実には誰も向き合わず、口を閉ざしています。この作品では、故郷カメルーンの神話を用い、女神が死者に語る力を持つという設定にしています。私は芸術家として、あえて加担者に語らせるという手法を取ること、文学的に吊りたいと考えています。

ある社会が傷ついたとき、そこから回復しなければ、人々、そして社会が本当の自己を開花することは

できません。これまで表沙汰にされてこなかった加担者たちを描くことで、他の社会のあらゆる傷にも目を向けることになり、人類共通の苦しみを和らげることに繋がっていくと考えています。

――日本の観客に向けてのメッセージをお願いします。

日本の方は必ずしもアフリカ中央部の歴史をよくご存じではないでしょう。でもそれは問題ではありません。意味にあまりとらわれずにセリフや演出の詩的な美しさ、面白さに心を動かしてほしいです。そうして、人間一般の問題として向き合っていたいただきたいのです。なぜなら、私たちは同じ人間なのですから。

「私は人間である。人間に関わることで私に無縁な事は一つもない。」私はテレネティウス※のこの言葉が大好きで、同じ考えで作品を作っています。このアフリカの神話や詩性が、みなさんの言葉、みなさんの美意識に変換されて、ご覧いただけるのを楽しみにしています。

※古代ローマの劇作家。言葉は戯曲「自虐者」より。

企画展

めがねと絆する 美術展

2018年11/23 [金・祝]

～2019年1/27 [日]

視覚文化の探究

休館日：毎週月曜日

*ただし、12月24日(月・休)および1月14日(月・祝)は開館、翌12月25日(火)および1月15日(火)は休館
*年末年始休館：2018年12月29日(土)～2019年1月1日(火・祝)

開館時間：午前10時～午後5時30分 (*展示室への入室は午後5時まで)

観覧料：一般 1,000円(800円)
70歳以上 500円(400円)
大学生以下 無料

* ()内は20名以上の団体料金。
*収蔵品展、ロダン館もあわせてご覧いただけます。
*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。



illustration：東京モノク
主催 | 静岡県立美術館 / テレビ静岡
協賛 | ヤマトグループ/レロジスティクスジャパン株式会社
協力 | 株式会社東京メガネ、株式会社アートボックス
企画 | トリメガ研究所

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art



1968年 激動の時代の 芸術

1968:
Art in the Turbulent
Age

50年前の芸術はこんなにも熱く激しかった

観覧料：一般1,000円(800円) 70歳以上500円(400円) 大学生以下 無料

* ()内は前売及び20名以上の団体料金。*収蔵品展、ロダン館もあわせてご覧いただけます。
*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

☆1968年割引…1968年生まれの方は観覧料800円(生年月日を確認できる証明書をご提示ください) ☆1968年展・80年代展 相互割引! 静岡県美術館「起点としての80年代」(1/5～3/24)の観覧券をお持ちの方は、本展を団体料金でご覧いただけます。
また、本展観覧券(半券可)を、静岡県美術館でご提示いただくと、80年代展が団体料金となります。*Twitterでハッシュタグ「#1968年静岡」をつけて「あなたの1968年」を投稿してみませんか。投稿の中から、抽選で3名の方に、同展覧会ペア招待券と図録をプレゼントいたします。

世界中で近代的な価値がゆらぎはじめ、各地で騒乱が頻発した1968年は、20世紀の転換点ともいべき激動の年でした。日本でも、全共闘運動やベトナム反戦運動などで社会が騒然とするなか、カウンターカルチャーやアングラのような過激でエキセントリックな動向が隆盛を極めました。社会全体が高揚した雰囲気にも包まれたこの時代には、現代美術をはじめ、写真・演劇・舞踏・映画・建築・デザイン・漫画などの領域においても、破壊的なエネルギーに満ちた先鋭的な試みが次々と生み出されました。学生運動やヒッピームーヴメントに代表されるような、既成の価値や体制に異議申し立てをおこなう時代の空気は、芸術家のあいだでも共有されていたのです。本展は、1968年からちょうど半世紀が経過した2018年の視点から、約400点の作品や資料とともにこの興味深い時代の芸術状況を、回顧しようとする試みです。この時代の芸術を輪切りして展覧することで、新たに発見してくるものがあるのではないのでしょうか。今から50年前に当時の芸術に親しんだ方も、これから出会う方も、展覧会場で1968年代の熱気を感じ取っていただければと思います。

■ 会期中イベント

対談「1968年と1980年代は地続きか？」

日時：2月11日[月・祝]14:00～15:30(開場13:30)
登壇：森村泰昌(美術家)、木下直之(静岡県立美術館館長)
司会：川谷承子(当館上席学芸員)
会場：静岡県立美術館 エントランスホール
聴講無料・申込不要

対談「漫画と1968『月刊漫画ガロ』を中心に」

日時：2月23日[土]14:00～15:30(開場13:30)
登壇：ライオン・ホームバーグ(東京大学 特任准教授)、
成相肇(東京ステーションギャラリー 学芸員)
会場：当館講座室
聴講無料・申込不要 先着順(定員40名程度)

館長美術講座 「1968年と明治100年—政治と歴史と文化」

日時：3月9日[土]14:00～15:30
講師：木下直之(当館館長)
会場：当館講座室
聴講無料・申込不要 先着順(定員40名程度)

フロアレクチャー

日時：2月24日[日]、3月3日[日] いずれも14:00から40分程度
集合場所：企画展第1展示室
展覧会担当学芸員が展示室にて解説を行います。
申込不要、観覧料が必要です。

上映会「カメラになった男 写真家 中平卓馬」 (2003年 2006年初公開) 監督：小原真史

日時：3月2日[土]14:00～ 上演時間91分
会場：当館講座室
入場無料・申込不要 先着順(定員40名程度)

1. 北井一夫『バリケード』より：ヘルメット 日本大学芸術学部内)1968年|作家蔵
2. 宇野重吉良 天井棧敷「星の王子さま」ポスター1968年|ギャラリー360蔵
3. 菅木志雄《斜位相》1969年|作家蔵|小山登美夫ギャラリー協力
4. 梅田英俊 《Peace》1966年|日本画廊蔵



1



2



3



4

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
総務課Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767
学芸課Tel.054-263-5857 Fax.054-263-5742
テレフォン・サービスTel.054-262-3737

ウェブサイト…<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館

「グランシップ音楽の広場2019」オーケストラ・合唱団出演者およびリクエスト曲 募集

客席と舞台が一緒になって創り上げる音楽の祭典「グランシップ音楽の広場」。2019年の開催にあたり、出演者およびリクエスト曲を募集します。

オーケストラ・合唱団出演者募集

グランシップでしか味わえない大スケールのコンサートと一緒に作りませんか。多くのご参加をお待ちしています。

本番日 2019年 8/4(日)

参加費／一般1,000円、大学生以下500円(オーケストラ・合唱団共通)
 出演／指揮：広上淳一(京都市交響楽団常任指揮者、東京音楽大学教授)
 コンサートマスター：西本幸弘 他
 募集期間／2月中旬～4/10(水)必着
 応募方法／申込書(募集開始時期に公開)
 に必要事項を記入の上、下記宛先まで
 郵送・メール・FAX・持参にて応募。



リクエスト曲募集

あなたの好きなクラシック曲・合唱曲・ポップスなど、「グランシップ音楽の広場2019」で聴いてみたい曲を自由にリクエストしてください。

応募方法①リクエスト曲(曲数は自由)、②住所、③氏名、④連絡先(メールアドレス、電話番号、FAX番号)、⑤「音楽の広場」の鑑賞または出演経験の有無を記入し、下記宛先まで郵送・メール・FAXにて応募。
 募集期間／12/1(土)～2月末日必着

採用された方から抽選で5組(10名)様まで、本公演にご招待いたします。
 ※応募曲の中から、本公演に則した数曲を採用します。リクエスト数による採用ではありません。
 《参考：これまでの演奏曲》
 歌劇「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」(プッチーニ)
 祝典序曲「1812年」(チャイコフスキー)／美しく青きドナウ(J.シュトラウスII)
 ビリーヴ(杉本竜一)／イマジン(J.レノン)等



【宛先】〒422-8019 静岡県駿河区東静岡二丁目3-1「グランシップ音楽の広場」係 TEL:054-203-5714 FAX:054-203-5716 E-mail:info@granship.or.jp

2018年12月現在の情報です。内容等変更になる場合があります。

グランシップ企画事業 1～3月のチケット発売・申込受付情報

エイフマン・バレエ ～躍動の「ロダン」～

2019年 7/15(月・祝) 15:00～ グランシップ 中ホール・大地
 S席9,800円 A席8,700円 B席7,500円 こども・学生1,000円

友の会先行販売 3/24(日)～30(土)

一般発売 3/31(日)～

NHK交響楽団名曲コンサート

2019年 6/27(木) 19:00～ グランシップ 中ホール・大地
 S席7,200円 A席6,200円 こども・学生1,000円

友の会先行販売 3/24(日)～30(土)

一般発売 3/31(日)～

TICKET チケット購入方法

グランシップ企画事業の公演チケットは、以下の方法でお求めいただけます。
 (ご購入の際は、友の会へのご入会がオトクです。P22参照)

グランシップWEBサイトから

http://www.granship.or.jp/
 グランシップWEBサイトのトップページの「チケット」から、空席状況に応じてお好きな席をお選びいただけます。(要事前登録、無料)
 チケットの受取
 コンビニ(セブンイレブン、ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料410円)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

お電話で

グランシップチケットセンター
 TEL.054-289-9000
 (営業時間10:00～18:30)

チケットの受取
 コンビニ(ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料410円)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

グランシップチケットセンター窓口で

グランシップ内
 チケットセンター窓口
 (営業時間10:00～18:30)

チケットの受取
 お支払い(現金またはクレジットカード)後、その場でチケットをお渡しします。

PRESENT 『GRANSHIP』vol.16 読者アンケートプレゼント

「スティーヴ・ガッド・バンド」サイン入りCD

『GRANSHIP』vol.16のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、9/2に開催された「スティーヴ・ガッド・バンド」の出演者サイン入りCDを2名様様にプレゼントいたします。官製はがきまたはメールで、住所・氏名・性別・職業・電話番号・アンケートのお答えをご記入の上、下記までお送りください。

2名様



[1] 今号でよかった記事は? [2] 本誌へのご意見・感想をお聞かせください。
 アンケート内容は、今後の誌面作りの参考とさせていただきます。尚、頂いた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用します。締切は2019年2月15日(当日消印有効)です。

官製はがき宛 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号
 グランシップマガジン『GRANSHIP』vol.16 プレゼント係

メール宛 info@granship.or.jp
 (件名に、『GRANSHIP』vol.16 読者アンケート係 とご記入ください)

GRANSHIP SUPPORTER

グランシップでは、スタッフと同様にグランシップの運営を支えるボランティアスタッフ約160名が「グランシップサポーター」として活動しています。今回は、サポーター有志が企画開催した「グランシップ横かしの映画会」の様子をご紹介します。



10/20(土)・21(日)の2日間、サポーター有志による「グランシップ横かしの映画会」を開催しました。今回は、後世に遺したい名作文学が原作で、昭和の若き女優の競演が印象的な4作品をフィルムで上映。この日のために、日頃の担当業務の垣根を超えたメンバーが、何か月も前から打合せを重ね、広報、ロビーに設置する展示物などを準備しました。「後世に遺したい～」というキャッチコピーも、サポーターのアイデアで決まったものです。担当ごとに、各作品の紹介記事を考えたり、若き女優たちの似顔絵も絵の得意なサポーターが手掛けました。上映日は両日とも晴天に恵まれ、多くの映画会ファンの方にお越しいただきました。各サポーターのおもてなしや展示の説明でお客様にもご満足いただき、また、来年へのモチベーションが高まり成功に終わりました。

10/20(土)・21(日)の2日間、サポーター有志による「グランシップ横かしの映画会」を開催しました。今回は、後世に遺したい名作文学が原作で、昭和の若き女優の競演が印象的な4作品をフィルムで上映。この日のために、日頃の担当業務の垣根を超えたメンバーが、何か月も前から打合せを重ね、広報、ロビーに設置する展示物などを準備しました。「後世に遺したい～」というキャッチコピーも、サポーターのアイデアで決まったものです。担当ごとに、各作品の紹介記事を考えたり、若き女優たちの似顔絵も絵の得意なサポーターが手掛けました。上映日は両日とも晴天に恵まれ、多くの映画会ファンの方にお越しいただきました。各サポーターのおもてなしや展示の説明でお客様にもご満足いただき、また、来年へのモチベーションが高まり成功に終わりました。

編集後記

静岡県内でも各地で、多種多様な展示・イベント・コンサートなどが毎週のように開催された文化の秋。みなさんは、どんな文化芸術に触れましたか?あちこちで魅力的な催しがあり、体が一つでは足りないなと悩んだり、その日が過ぎてしまってから情報を知る、なんてこともありますね。本誌では、グランシップイベントカレンダーのほかに、県内のイベント情報も掲載しています。東部・中部・西部のエリアで分かれており、お住まいの地域やお出かけ先に合わせてチェックできますので、ぜひ、ご利用ください。みなさんが文化芸術に親しむ助けとなるよう、グランシップは、引き続き様々な形で発信していきます。

グランシップ貸施設のご案内

あらゆる目的・スタイルにお応え!

イベント・展示会・大規模パーティーまで開催可能な大ホール・海

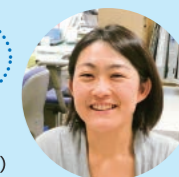


大ホール・海は、「ホール」でありながら、1階を平土間形式にすると、1,720㎡の「アリーナ」として使用でき、ブース形式の各種展示会や、大人数での着席や立食によるパーティーなど様々な催し物にご活用いただけます。1階に座席を設置して5階席まで使用すると、最大約4,600人を収容するホールとして、式典・コンサート等を開催することができます。

耳より情報

グランシップ広場も併せてご利用いただくと、屋内外の広いスペースを活かした、より多彩なイベントが開催できます。

ご希望の催し物に合わせて、ご利用方法やプランをご提案いたします。まずはご相談ください。



(催事サービスグループ 大石 彩香)

●催事開催支援サービス

式典・公演等に必要看板・装花・ケータリングや、音響・照明・映像スタッフの手配、演出のご相談などお気軽にお問合せください。

●TOPIC

定員100名未満の会議室、練習室のWEB予約時には、お客様自身で備品の申込みができるようになりました。これまでご提出いただいていた「利用計画書」は不要となりました。

空き状況はWEBでもご確認いただけます。

大ホール・海のご予約は、使用開始日2年前の同月初日よりお電話にて承ります。

施設のご予約・サービスに関するお問い合わせ

(公財)静岡県文化財団 事業課 催事サービスグループ

TEL:054-203-5713 (受付時間9:00～20:00 ※休館日を除く)

FAX:054-203-6710 E-mail:yoyaku@granship.or.jp

貸施設の写真・図面・備品の一覧は、グランシップHP「施設予約の方」ページよりご覧いただけます!

グランシップ

検索

2020年9月から2021年9月までの期間中、グランシップは静岡県による特定天井対策改修工事に伴い、全館休館・部分休館となります。詳しくはグランシップホームページをご覧ください。